

# Ⅱ 履修の手引き

Ⅰ 大・学修の手引き

Ⅱ 大・履修の手引き

Ⅲ 学籍について

Ⅳ 子ども発達教育専攻科  
学修・履修の手引き

Ⅴ 関係規程集

大学院

## 1 履修の方法について

### (1) 本学の教育課程

私立大学には創設者の建学の理想があります。本学では、その理想を実現するためディプロマ・ポリシーを定め、それに基づき、それぞれの学科・コースのディプロマ・ポリシーを設定して、特色ある教育活動を行っています。

それぞれの学科・コースでは、上記のディプロマ・ポリシーを達成するためにさまざまな授業科目を開講しており、また、授業科目を段階的・系統的に分類し整理した教育課程(カリキュラム)を作成しています。

本学の教育課程は、学修の区分として①「共通教育」科目、②「専門教育」科目が設定されています。学生は、それぞれの区分にわたって、定められた数の単位を履修して、卒業に必要な単位(卒業要件単位)を充足しなければなりません。これを一覧表にしてまとめて示したものが教育課程表です。

### (2) 共通教育科目

共通教育科目は、「比治山ベーシック科目」と「教養科目」とで編成されています。教育課程表に基づいて履修してください。

#### 「比治山ベーシック科目」

「スタートアップ」「キャリア形成」「コミュニケーションリテラシー(日本語・外国語・情報)」の3分野からなり、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身につけることをねらいとする科目が設定されています。分野ごとに必修科目と選択科目に分けられていますので留意してください。

#### 「教養科目」

教養科目は、生命の尊厳と創造性を学ぶための「人間」と「文化」、ひろしま・日本から国際社会を理解するための「社会(地域・国際)」の3つの分野で構成されています。

領域ごとに履修すべき単位数が定められています。

履修に当たっては、その科目構成や開講時期を理解した上で、自己の学修にとって有益となるようによく考えて選択してください。

また、授業科目によっては、履修定員が定められている科目があり、履修定員を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行うことがあります。

### (3) 専門教育科目

専門教育科目は、各学科の教育目的に基づき、段階的・系統的に構成された科目群で、専門的学術性の高い科目を集約的に履修できるよう設置されています。専門教育科目の履修は、ほぼ年次ごとに配当された科目を、規定に従って計画的に選択することになります。各学科・コースごとに特色がありますので、履修の具体的方法については、この『学生便覧』に記載されている「各学科の卒業に必要な単位数」や「教育課程表」で確認してください。

## (4) 他学科科目等

他学科の専門教育科目, 教職課程に関連する科目, 学芸員資格科目, 比治山大学短期大学部単位互換科目, 教育ネットワーク中国加盟の大学, 短期大学との単位互換科目, HOPE (Hijiyama Overseas Program & Experience) 科目を一定の条件の下に履修することができます。

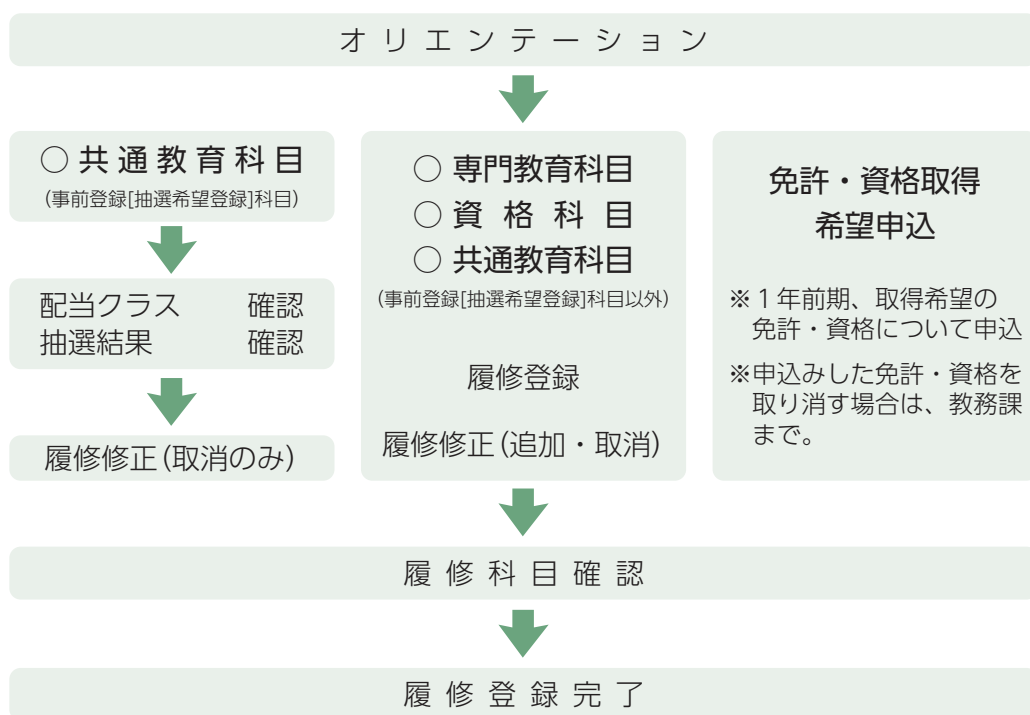
ただし, 保育士資格, 幼稚園一種免許状, 小学校一種免許状, 学校図書館司書教諭の資格科目は, 資格取得が可能な学科の学生のみ履修することができます。詳細は, 「免許・資格について」で確認してください。

なお, 健康栄養学部管理栄養学科については, 他学科科目等を卒業要件単位に算入しません。

## 2 履修登録について

## (1) 履修登録の流れ

履修登録・確認は, Hilwayシステム(Web)により行います。  
Hilwayシステムは, 学外のパソコンからも利用することができます。詳細は「Hilway・Google Workspace利用の手引き」で確認してください。



## (2) 履修登録の制限

- 履修登録できる単位数は、各学期24単位を上限とします。  
なお、卒業年次生で80単位以上単位を修得している者、および編入生は各学期30単位を上限とします。
  - 他大学との単位互換科目については、履修登録の上限を超えて履修できます。(※)
  - 現代文化学部の卒業論文の履修登録は、原則として、3年以上在学し、卒業に必要な単位を80単位以上修得していなければなりません。
  - 健康栄養学部の地域課題研究Ⅰの履修登録は、3年次前期までの必修科目をすべて履修していなければなりません。
- (※)健康栄養学部の学生は、認定された単位が卒業要件単位になりません。

## (3) 履修登録

履修登録については、オリエンテーションで各学科の教学委員から説明があります。履修登録はHi!Wayシステムにより行います。詳細については「履修の手引き」を参照してください。

## (4) 再履修

指定されたセメスターに単位が修得できなかった場合は、次のセメスター以降に再び授業科目を履修することができます。これを再履修といいます。

# 3 教育課程 (カリキュラム・カリキュラムマップ・ナンバリング) について

## (1) 共通教育科目

### I. 比治山ベーシック科目について

「比治山ベーシック科目」は、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身につけることをねらいとしています。

#### (1) スタートアップ

高校から大学へ、生徒から学生へ、「学び」の円滑な移行を意図しています。そのために、(1)建学の精神や教育理念を理解し、学生同士あるいは学生と教員との信頼関係を築きながら本学で学ぶ意欲を持つこと、(2)大学で学ぶための学修の基礎的な技術・方法を身につけること、(3)卒業後の就職あるいは進学への意識を高めることを目的としています。

#### (2) キャリア形成

「一人の人間として人生をいかに生きるか」という生涯にわたる人生設計を考えることを目的としています。一人ひとりが自分の将来を視野に入れ、社会人として活躍するための目標を設定します。個人ワークやグループワークを通し自己理解を深めながら、自発的に卒業後の進路を選択し、社会的に自立できる力を育んでいきます。

#### (3) コミュニケーションリテラシー

リテラシーとは、「読み書き能力」という意味です。急速な情報化、国際化を特徴とする現代社会においては、従来の「言語」によるリテラシーは当然ながら、コンピュータを中心とした情報機器を活用するためのリテラシーが求められています。本学では、「日本語」「外国語」「情報」の3つのスキルを「コミュニケーションリテラシー」と位置付けて、大学や社会で通用する水準まで〈読む〉〈書く〉〈聞く〉〈話す〉能力を高めていくことを目指していきます。

### ①日本語

現代社会の一員として必要とされる日本語能力を確実に身につけることを目的としています。少人数の演習形式により、日本語表現の基本的な知識を学ぶとともに、小論文やレポートなどの文章表現、スピーチや発表、ディスカッションなどの口頭表現の基本を学びます。「日本語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、その習熟度や学修の必要性に応じたトラック制(基礎トラック/発展トラック)によって、きめ細かく個別に指導を行っていきます。

### ②外国語

国際化の進む現代社会の一員として、自発的かつ創造的に外国語を運用できる能力の育成を目的としています。英語では、習熟度別クラス編成により、英語の基礎的な能力を身につけます。「英語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、学修の必要性に応じたトラック制(基礎トラック/発展トラック)によって、きめ細かく個別に指導を行っていきます。さらに、英会話ではネイティブを中心としたスタッフによって実践的な英語力を高めていきます。また、中国語とハングルでは、基礎的な運用能力養成に加えて、文化的な側面の学修など、国際社会で求められる知識を養っていきます。

### ③情報

本学の情報利用環境になじみ、授業や自学自習・資格取得のために必要な情報活用能力を身につけます。「情報リテラシー」(1年前期)を必修科目として、「情報受発信能力」、「表現力」、「問題解決能力」を一定レベルまで高める学修プログラムによって、大学生活でそして社会人になっても不可欠な情報関連の基礎技能を修得していきます。

## II. 教養科目について

教養科目は、特定の分野に偏らない広い視野を持った人材を育成することを目的としています。大学・短期大学の教員が授業を担当していますので、学科の枠および専門分野を超えて学修できます。

生命の尊厳と創造性を学ぶための「人間」と「文化」、ひろしま・日本から国際社会を理解するための「社会(地域・国際)」の3つの分野で構成されています。

教養科目の特色は、次のようにまとめられます。

- (1)各分野にコアとなる総合的科目を設定し、学際的なテーマをオムニバス方式やチームティーチングなどによって、専門分野の異なる複数の教員が多方面からアプローチします。
- (2)アクティブ・ラーニング(能動的学習)を重視し、学生が主体的に参画できる学生参加型の授業科目を多く導入しています。学びの場も、教室だけに限らず、大学の外へ飛び出して、施設見学、制作・創作活動、フィールドワークを行います。
- (3)地域の文化を知ることによって、世界のさまざまな文化(異文化)を理解できるようにし、グローバル、すなわち、グローバル(国際性)とローカル(地域性)との調和を図っています。
- (4)他大学、短期大学との単位互換授業科目、高大連携による公開授業科目など開かれた授業を目指しています。

(1) 共通教育科目 現代文化学部 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
比治山ベーシック科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	演習	30	2		○								4単位
		初年次セミナーⅡ	演習	30	2			○							
	キャリア形成	キャリアデザイン	講義	30	2				○						必修2単位以上
		キャリアデザイン演習A	演習	30	2				○						
		キャリアデザイン演習B	演習	30	2					○					
		キャリアデザイン演習C	演習	30	2						○				
		インターンシップA	実習	45	1				○						
		インターンシップB	実習	90	2				○						
	外国語	日本語	日本語リテラシー	演習	30	1		○							必修1単位を含め 2単位以上 選択必修
			日本語表現	演習	30	1			○						
			日本語基礎	演習	30	1			○						
		コミュニケーションリテラシー	英語リテラシー	演習	30	1		○							必修1単位を含め 4単位以上 選択必修 英語Ⅰまたは 英語基礎Ⅰの いずれか1つを 選択必修
			英語Ⅰ	演習	30	1			○						
			英語Ⅱ	演習	30	1				○					
			英語Ⅲ	演習	30	1					○				
			英語基礎Ⅰ	演習	30	1			○						
			英語基礎Ⅱ	演習	30	1				○					
			英語基礎Ⅲ	演習	30	1					○				
			英会話Ⅰ	演習	30	1	○								
			英会話Ⅱ	演習	30	1		○							
			中国語Ⅰ	演習	30	1	○								
			中国語Ⅱ	演習	30	1		○							
	ハングルⅠ	演習	30	1	○										
	ハングルⅡ	演習	30	1		○									
	情報	情報リテラシー	演習	30	1		○							必修1単位を含め 2単位以上 選択必修	
		情報処理演習A	演習	30	1			○							
		情報処理演習B	演習	30	1				○						
		情報処理演習C	演習	30	1					○					
		データサイエンス入門	演習	30	2			○							
		プログラミング基礎	演習	30	2				○						
教養科目	人間	人間と生命	講義	30	2	◎								2単位以上 選択必修	
		こころの科学A	講義	30	2		◎								
		こころの科学B	講義	30	2	◎									
		こころの健康A	講義	30	2	◎									
		こころの健康B	講義	30	2		◎								
		人間の発達A	講義	30	2		◎								
		人間の発達B	講義	30	2	◎									
		からだを科学する	講義	30	2	◎	◎								
		食事と健康	講義	30	2		◎								
		ウエルネス論	講義	30	2			*		*					
		スポーツA	実技	30	1	*	*								
		スポーツB	実技	30	1										
		文化	現代の文化	講義	30	2	◎								
	子どもの文化		講義	30	2		◎								
	日本の文学を読む		講義	30	2	◎									
	世界の文学を読む		講義	30	2	◎									
	ことばの世界		講義	30	2	◎									
	美術の世界		講義	30	2	◎									
	音楽の世界		講義	30	2		◎								
	日本の映画を観る	講義	30	2	◎										
世界の映画を観る	演習	30	2	◎											
くらしの数学	演習	30	2	◎											
文芸への誘い	演習	30	2		◎										
美術を体験する	演習	30	2		◎										
地域文化を体験するA	演習	30	2	◎											
地域文化を体験するB	演習	30	2		◎										

24単位以上

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目 社会(地域・国際)	ひろしま学A	講義	30		2	○									2単位以上 選択必修
	ひろしま学B	講義	30		2		○								
	日本国憲法	講義	30		2	*			*						
	人権を考える	講義	30		2		○								
	ボランティアワーク I	演習	30		2		○								
	ボランティアワーク II	演習	30		2		○								
	異文化を知る	講義	30		2		○	○							
	世界と日本A	講義	30		2		○								
	世界と日本B	講義	30		2			○							
	地球環境を考える A	講義	30		2		○								
	地球環境を考える B	演習	30		2		○								
	Hijiyama Global Studies 海外実習	実習	60		2			○							

開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。開講時期の◎印は、1～4年次の開講学期に開講します。履修条件については、「履修の手引き」で確認してください。開講時期の\*印の授業科目についてはオリエンテーションの履修指導、時間割等により確認してください。

### 卒業に必要な 単位数

共通教育科目	比治山ベシック科目	スタートアップ		必修4単位	24単位 以上
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修	
	外国語		必修1単位を含め、4単位以上選択必修		
	情報		必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
	教養科目	人間		2単位以上選択必修	
文化		2単位以上選択必修			
社会(地域・国際)		2単位以上選択必修			

### 共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目

現代文化学部では以下の科目が共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目です。

2C0-1011 初年次セミナー I

2C0-1021 初年次セミナー II

0C0-1111 キャリアデザイン

2C0-2111 キャリアデザイン演習A

0D0-1211 日本語リテラシー

0D0-1221 日本語表現

0D0-1231 日本語基礎

0D0-1311 英語リテラシー

0D0-1321 英語 I

0D0-1351 英語基礎 I

(2) 専門教育科目 現代文化学部 言語文化学科日本語文化コース 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		提供科目	開講時期								卒業要件	
				必修	選択		1年		2年		3年		4年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎	言語文化論	講義	30		2		○									入門科目 4単位選択必修  必修を含め 12単位以上
	日本語学入門	講義	30		2		○									
	日本文学入門	講義	30		2		○									
	日本歴史・文化入門	講義	30		2		○									
	日本語概論	講義	30		2			○								
	日本文学概論	講義	30		2			○								
	日本歴史・文化概論	講義	30		2			○								
	言語学入門	講義	30		2		○									
	英米文学入門	講義	30		2		○									
	異文化理解入門	講義	30		2		○									
	英語学概論	講義	30		2			○								
	米文学概論	講義	30		2			○								
	英文学概論	講義	30		2				○							
基礎ゼミナールⅠ	演習	30	2					○								
基礎ゼミナールⅡ	演習	30	2						○							
日本語学・日本文学・日本文化	日本語研究Ⅰ	講義	30		2	☆			○						A(A, B, Cから1つ以上)  20単位以上  B(A, B, Cから1つ以上)  C(A, B, Cから1つ以上)	
	日本語研究Ⅱ	講義	30		2	☆				○						
	日本語の歴史	講義	30		2	☆					○					
	日本語表現法Ⅰ	演習	30		2				○							
	日本語表現法Ⅱ	演習	30		2	☆				○						
	日本語表現研究	講義	30		2	☆						○				
	日本語学演習	演習	30		2						○					
	日本文学研究Ⅰ	講義	30		2	☆			○							
	日本文学研究Ⅱ	講義	30		2	☆				○						
	日本文学の歴史	講義	30		2	☆					○					
	日本映画文化論	講義	30		2	☆						○				
	日本ファンタジー論	講義	30		2	☆							○			
	漢文学	講義	30		2	☆						○				
	日本文学演習	演習	30		2							○				
	地域の文化と歴史	講義	30		2	☆			○							
	日本考古学	講義	30		2	☆				○						
	日本民俗学	講義	30		2	☆					○					
演劇・芸能研究	講義	30		2	☆						○					
日本の伝統文化	講義	30		2	☆							○				
日本語文化研修	演習	30		2								*				
日本歴史・文化演習	演習	30		2							○					
表現・創作	書道Ⅰ	演習	30		2				○						Ⅰ～Ⅳ ステップ履修	
	書道Ⅱ	演習	30		2					○						
	創作論	講義	30		2	☆				○						
	創作演習Ⅰ	演習	30		2						○					
	創作演習Ⅱ	演習	30		2							○				
	創作演習Ⅲ	演習	30		2								○			
	創作演習Ⅳ	演習	30		2									○		
言語文化共通	翻訳基礎	講義	30		2				○						8単位以上	
	社会言語学	講義	30		2	☆				○						
	対照言語学	講義	30		2	☆					○					
	日本文学講読	講義	30		2	☆	○									
	日本児童文学	講義	30		2	☆		○								
	日本文化史Ⅰ	講義	30		2	☆	○									
	日本文化史Ⅱ	講義	30		2	☆		○								
	英米音楽文化論	講義	30		2	☆	○									
	日英比較文化	講義	30		2	☆		○								
	日本のポップカルチャー	講義	30		2	☆		○								
	ベーシックコミュニケーションスキルⅠ	演習	30		2	☆	○									
	ベーシックコミュニケーションスキルⅡ	演習	30		2	☆		○								
	異文化理解実践研究	講義	30		2	☆			○							
	異文化間コミュニケーションⅠ	演習	60		2	☆	*									
	異文化間コミュニケーションⅡ	演習	60		2	☆	*									
	異文化間コミュニケーションⅢ	演習	60		2	☆			*							
	日本語教育概論Ⅰ	講義	30		2	☆			○							
	日本語教育概論Ⅱ	講義	30		2	☆				○						
	日本語教授法	講義	30		2	☆					○					
	日本語教材研究	講義	30		2	☆						○				
日本語教育実習	演習	30		2	☆						*					
特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	2								○		必修6単位		
	特別研究Ⅱ	演習	30	2									○			
	特別研究Ⅲ	演習	30	2									○			
卒業論文	卒業論文			4									○	必修4単位		

計74単位以上

☆は、言語文化学科 国際コミュニケーションコース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科への提供科目です。

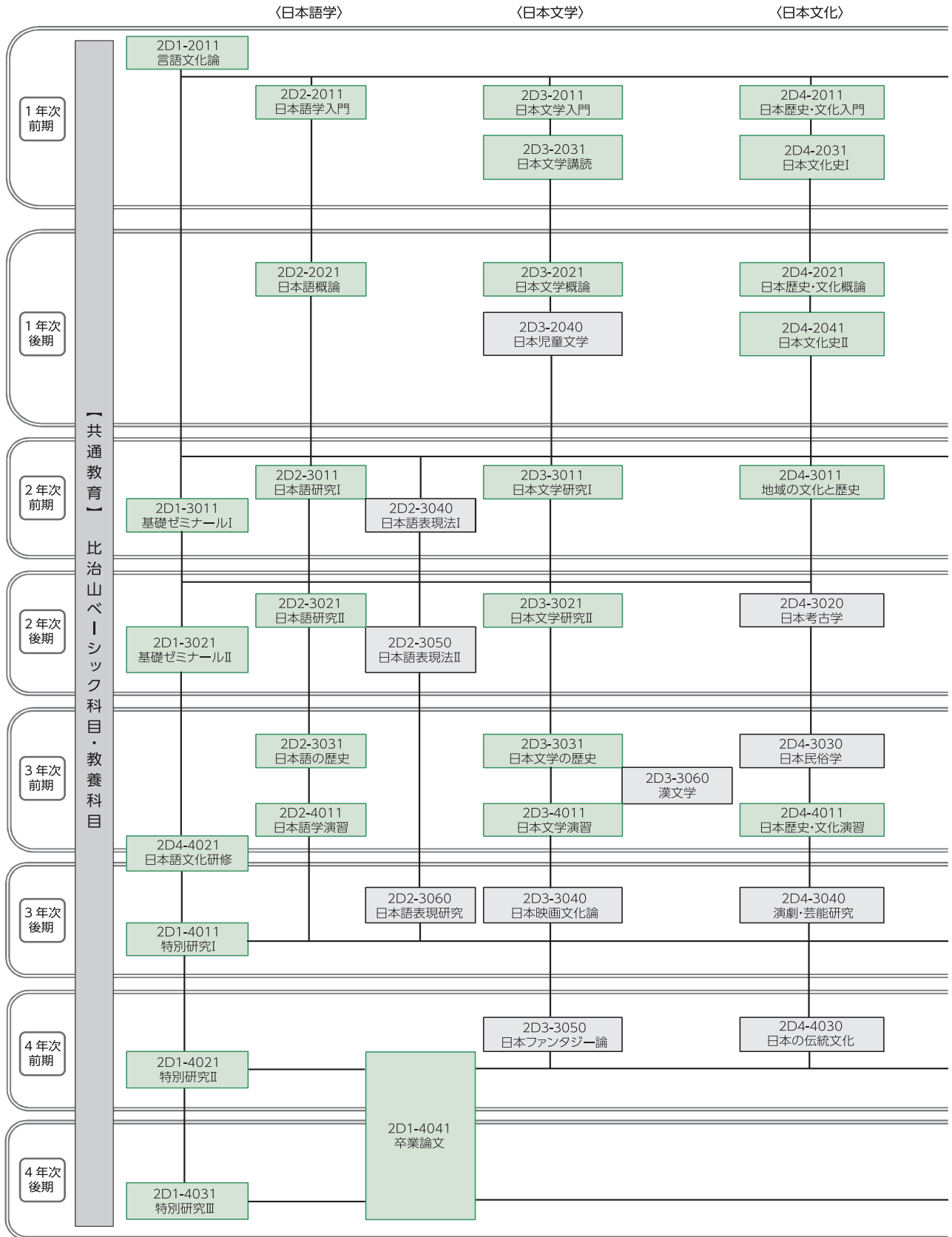
※選択必修 「日本語学演習」「日本文学演習」「日本歴史・文化演習」のうち、いずれか1科目選択必修



卒業に必要な単位数

学科コース		言語文化学科日本語文化コース			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベシック科目	スタートアップ		必修4単位	24単位
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修	
	外国語		必修1単位を含め、4単位以上選択必修		
	情報		必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
	教養科目	人間		2単位以上選択必修	
文化		2単位以上選択必修			
社会(地域・国際)		2単位以上選択必修			
専門教育科目	専門基礎		12単位	70単位	
	日本語学・日本文学・ 日本文化		20単位		
	表現・創作				
	言語文化共通		8単位		
	特別研究		6単位		
卒業論文		4単位			
計		124単位 ※			

※他学科・他コースが提供している専門教育科目，教職課程に関連する科目，学芸員資格科目，学校図書館司書教諭資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。



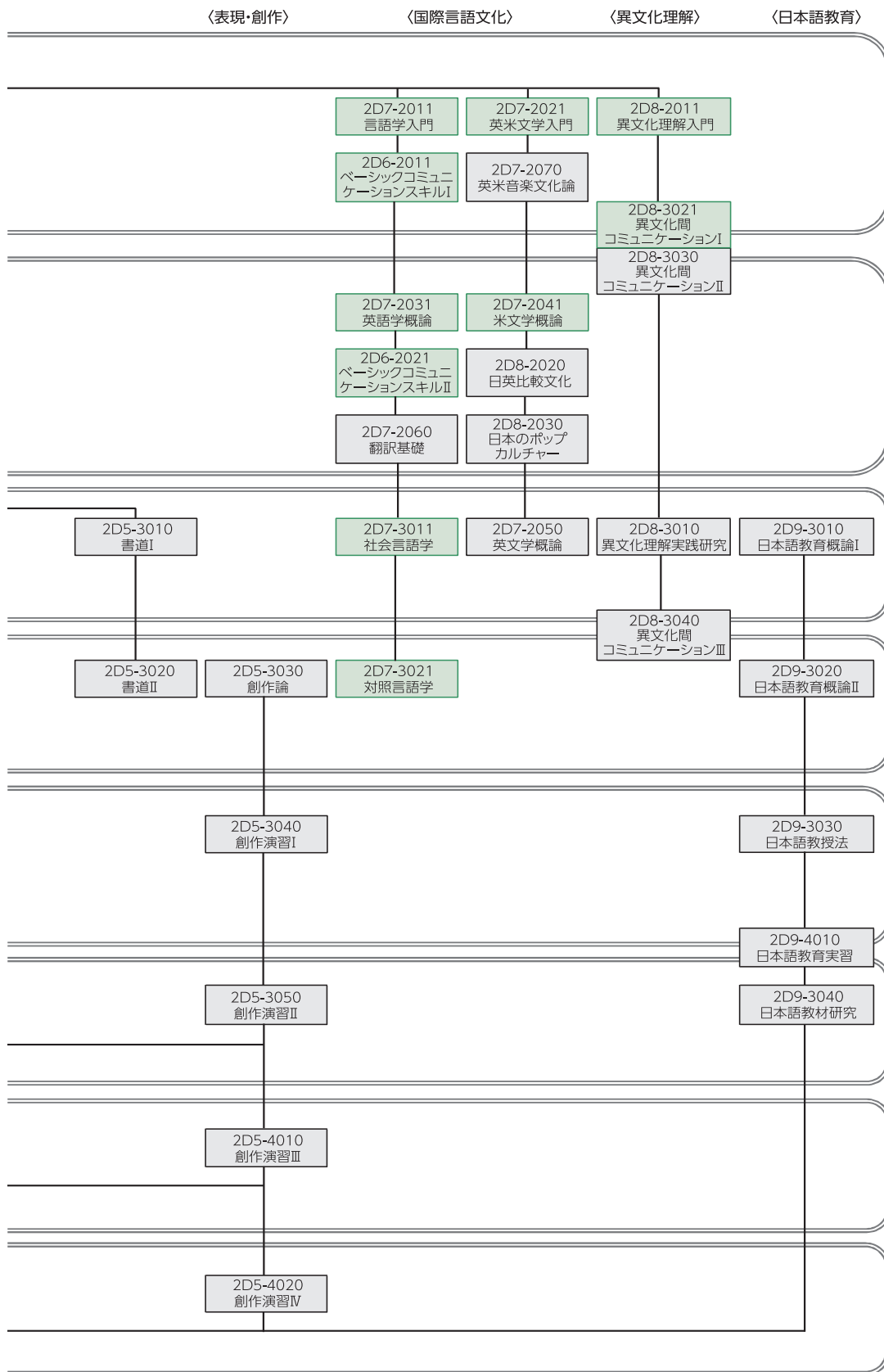
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

**ナンバリングのコード規則**

(例) 2 D1 - 2 01 1 「言語文化論」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

■ コア・アクティブ・ラーニング科目



<b>ナンバリング 各コードの詳細</b>	
【学部番号】	
2	大学

【学問分野】	
D1	言語文化コア科目(基礎科目・特別研究などの必修系)
D2	日本語学
D3	日本文学
D4	日本歴史・文化
D5	表現・創作
D6	国際コミュニケーションスキル
D7	国際言語文化
D8	異文化理解
D9	日本語教育

【難易度】	
1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

【通し番号】	
01	順次
【コア・アクティブ・ラーニング科目】	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(3) 専門教育科目 現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		提供科目	副専攻	開講時期								卒業要件
				必修	選択			1年		2年		3年		4年		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎	言語文化論	講義	30		2			○								入門科目4単位 選択必修  必修含め 12単位以上
	日本語学入門	講義	30		2			○								
	日本文学入門	講義	30		2			○								
	日本歴史・文化入門	講義	30		2			○								
	日本語概論	講義	30		2			○								
	日本文学概論	講義	30		2			○								
	日本歴史・文化概論	講義	30		2			○								
	言語学入門	講義	30		2			○								
	英米文学入門	講義	30		2			○								
	異文化理解入門	講義	30		2			○								
	英語学概論	講義	30		2			○								
	米文学概論	講義	30		2			○								
	英文学概論	講義	30		2				○							
基礎ゼミナールⅠ	演習	30	2					○								
基礎ゼミナールⅡ	演習	30	2						○							
国際コミュニケーションスキル	英語コミュニケーションⅠ	演習	30		2	☆	★			○					12単位以上	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	30		2	☆	★			○						
	英語コミュニケーションⅢ	演習	30		2	☆	★				○					
	英語コミュニケーションⅣ	演習	30		2	☆	★					○				
	検定英語Ⅰ	演習	30		2	☆	★			○						
	検定英語Ⅱ	演習	30		2	☆	★				○					
	Presentation Skills	演習	30		2	☆	★				○					
	Critical Thinking and Discussion	演習	30		2	☆	★					○				
	Functional Expressions	演習	30		2	☆	★					○				
	Multimedia Communication	演習	30		2	☆	★					○				
	中国語コミュニケーションⅠ	演習	30		2	☆				○						
	中国語コミュニケーションⅡ	演習	30		2	☆				○						
	ハンブルコミュニケーションⅠ	演習	30		2	☆				○						
ハンブルコミュニケーションⅡ	演習	30		2	☆					○						
国際言語文化	英語の歴史	講義	30		2	☆				○					必修2単位含め 8単位以上	
	英米文学講読	講義	30		2	☆					○					
	英米児童文学	講義	30		2	☆						○				
	欧米文化論	講義	30		2	☆						○				
	アジア文化論	講義	30		2	☆						○				
	英米映画文化論	講義	30		2	☆	★			○						
	翻訳文化論	講義	30		2	☆						○				
	創作文化論	講義	30		2	☆							○			
	児童英語教育概論	講義	30		2	☆				○						
	児童英語教材論	講義	30		2	☆						○				
	児童英語教育演習	演習	30		2	☆							○			
	国際文化演習	演習	30	2								○				
	言語文化共通	翻訳基礎	講義	30		2					○					
社会言語学		講義	30		2	☆				○						
対照言語学		講義	30		2	☆					○					
日本文学講読		講義	30		2	☆		○								
日本児童文学		講義	30		2	☆		○								
日本文化史Ⅰ		講義	30		2	☆		○								
日本文化史Ⅱ		講義	30		2	☆		○								
英米音楽文化論		講義	30		2	☆	★	○								
日英比較文化		講義	30		2	☆	★	○								
日本のポップカルチャー		講義	30		2	☆		○								
ベーシックコミュニケーションスキルⅠ		演習	30		2	☆	★	○								
ベーシックコミュニケーションスキルⅡ		演習	30		2	☆	★	○								
異文化理解実践研究		講義	30		2	☆				○						
異文化間コミュニケーションⅠ		演習	60		2	☆	★	*								
異文化間コミュニケーションⅡ		演習	60		2	☆	★	*								
異文化間コミュニケーションⅢ		演習	60		2	☆	★			*						
日本語教育概論Ⅰ		講義	30		2	☆				○						
日本語教育概論Ⅱ		講義	30		2	☆					○					
日本語教授法		講義	30		2	☆						○				
日本語教材研究		講義	30		2	☆							○			
日本語教育実習	演習	30		2	☆							*				
特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	2								○		必修6単位		
	特別研究Ⅱ	演習	30	2									○			
	特別研究Ⅲ	演習	30	2									○			
卒業論文	卒業論文			4									○	必修4単位		

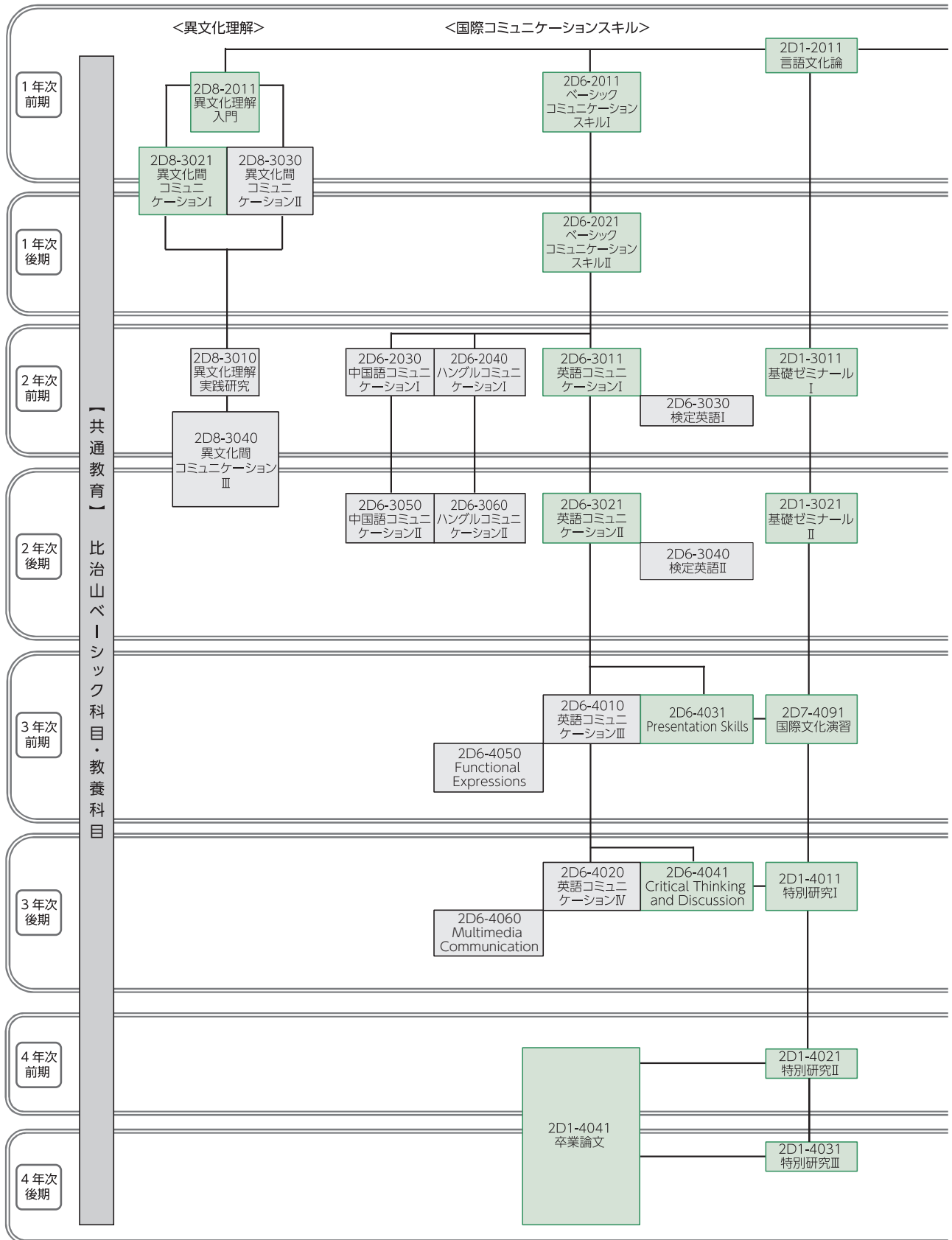
計74単位以上

☆は、言語文化学科 日本語文化コース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科への提供科目です。  
★は、言語文化学科 日本語文化コース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科の副専攻科目です。

卒業に必要な単位数

学科コース		言語文化学科国際コミュニケーションコース			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベシック科目	スタートアップ		必修4単位	24単位
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修	
	外国語		必修1単位を含め、4単位以上選択必修		
	情報		必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
	教養科目	人間		2単位以上選択必修	
文化		2単位以上選択必修			
社会(地域・国際)		2単位以上選択必修			
専門教育科目	専門基礎		12単位	70単位	
	国際コミュニケーションスキル		12単位		
	国際言語文化		8単位		
	言語文化共通		8単位		
	特別研究		6単位		
卒業論文		4単位			
計		124単位 ※			

※他学科・他コースが提供している専門教育科目，教職課程に関連する科目，学芸員資格科目，学校図書館司書教諭資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

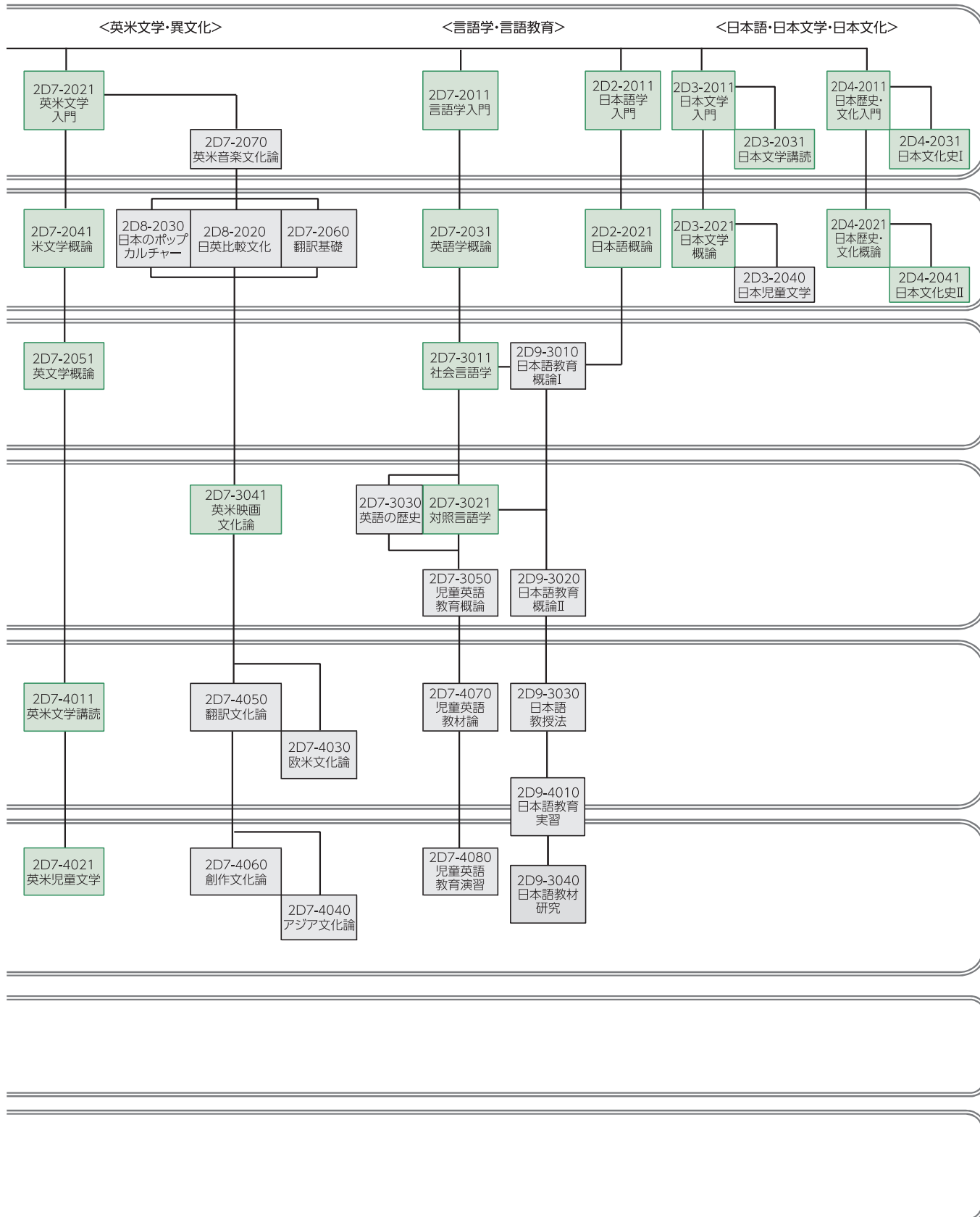


比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 D1 - 2 01 1 「言語文化論」  
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

■ コア・アクティブ・ラーニング科目



**ナンバリング  
各コードの詳細**

[学部番号]	
2	大学

[学問分野]	
D1	言語文化コア科目(基礎科目・特別研究などの必修系)
D2	日本語学
D3	日本文学
D4	日本歴史・文化
D5	表現・創作
D6	国際コミュニケーションスキル
D7	国際言語文化
D8	異文化理解
D9	日本語教育

[難易度]	
1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

[通し番号]	
01	順次
[コア・アクティブ・ラーニング科目]	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(4) 専門教育科目 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業 すべき 時間数	単位数		提供 科目	開 講 時 期								卒業要件
				必修	選択		1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎	広告・マーケティング基礎ゼミ	演習	30	2			○								必修6単位を 含め20単位以上 選択必修
	映像・取材基礎ゼミ	演習	30	2			○								
	観光・情報基礎ゼミ	演習	30	2			○								
	映像表現	講義	30	2	☆		○								
	ニュース基礎	講義	30	2	☆		○								
	ライター入門	演習	30	2				○							
	マスコミ基礎	演習	30	2				○							
	コンピュータサイエンス	講義	30	2					○						
	観光学概論	講義	30	2					○						
	私流おもてなし論	講義	30	2					○						
	観光文化論	講義	30	2					○						
	簿記論	講義	30	2						○					
	ビジネスの知識	講義	30	2	☆						○				
	ビジネスの技術	演習	30	2								○			
ビジネスの現場	講義	30	2									○			
専門	メディア史	講義	30	2			○							14単位以上 選択必修	
	CGクリエーション	演習	30	2			○								
	メディアの文章	演習	30	2				○							
	メディア制作Ⅰ	演習	30	2				○							
	メディア制作Ⅱ	演習	30	2				○							
	広告コピー制作	演習	30	2					○						
	データサイエンス	講義	30	2					○						
	マーケティングの企画	演習	30	2						○					
	グループワーク	演習	30	2						○					
	ライフサイエンス	講義	30	2											
	ニュースを読む	講義	30	2	☆						○				
	映像文化	講義	30	2	☆							○			
	地域資源論	講義	30	2					○						
	観光事業論	講義	30	2					○						
	観光消費者論	演習	30	2					○						
	地域経済論	講義	30	2					○						
	観光情報発信	演習	30	2					○						
	観光ビジネス論	演習	30	2						○					
	観光業界研究	演習	30	2						○					
観光マーケティング	講義	30	2							○					
観光人材論	講義	30	2								○				
発展 応用	ワークショップ	演習	30	2					○					12単位以上選択必修, 発展ゼミナールⅠⅡと 課題研究ⅠⅡの どちらかを選択必修	
	取材法	演習	30	2					○						
	地域メディアの現場	講義	30	2						○					
	コミュニケーションデザイン	演習	30	2							○				
	広島圏域の観光政策	演習	30	2					○						
	世界遺産の観光学Ⅰ(宮島)	演習	30	2					○						
	世界遺産の観光学Ⅱ(平和遺産)	演習	30	2	☆					○					
	瀬戸内ツーリズム	演習	30	2						○					
	里山ツーリズム	演習	30	2						○					
	観光インターンシップ	演習	30	2						○					
	発展ゼミナールⅠ	演習	30	2							○				
	発展ゼミナールⅡ	演習	30	2								○			
	課題研究Ⅰ	演習	30	2					○						
課題研究Ⅱ	演習	30	2						○						
研 究	マスコミ演習Ⅰ	演習	30	2						○				必修10単位	
	マスコミ演習Ⅱ	演習	60	4							○				
	特別研究Ⅰ	演習	30	2								○			
	特別研究Ⅱ	演習	30	2									○		
卒業論文	卒業論文			4								○		必修4単位	

計74単位以上

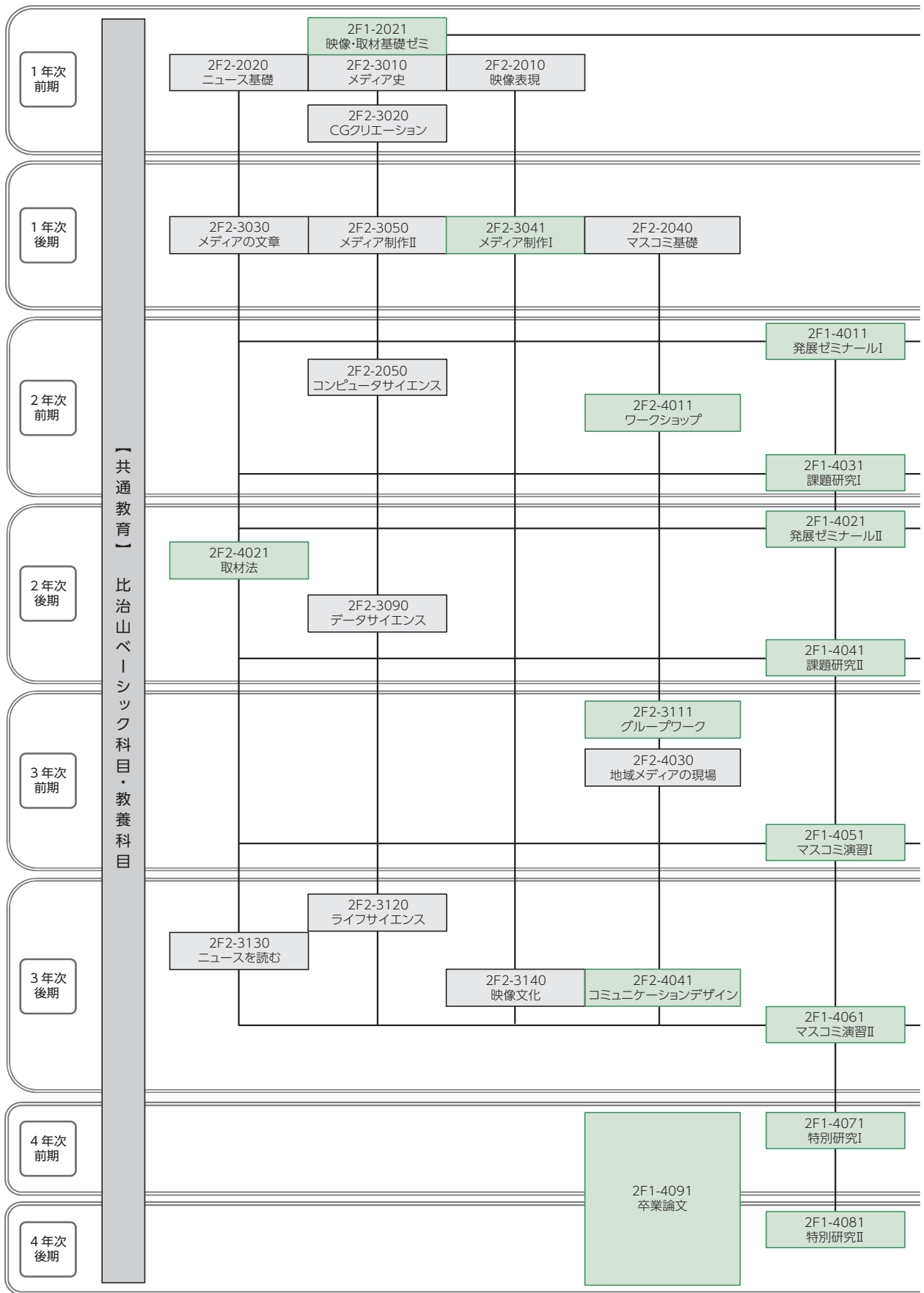
☆は、言語文化学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科への提供科目です。



卒業に必要な単位数

学科コース		マスコミュニケーション学科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修4単位	24単位
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修	
			外国語	必修1単位を含め、4単位以上選択必修	
	教養科目	人間	必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
		文化	必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
社会(地域・国際)	必修1単位を含め、2単位以上選択必修				
専門教育科目	基礎	20単位		70単位	
	専門	14単位			
	発展応用	12単位			
	研究	10単位			
卒業論文	4単位				
計	124単位 ※				

※他学科が提供している専門教育科目，学芸員資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。



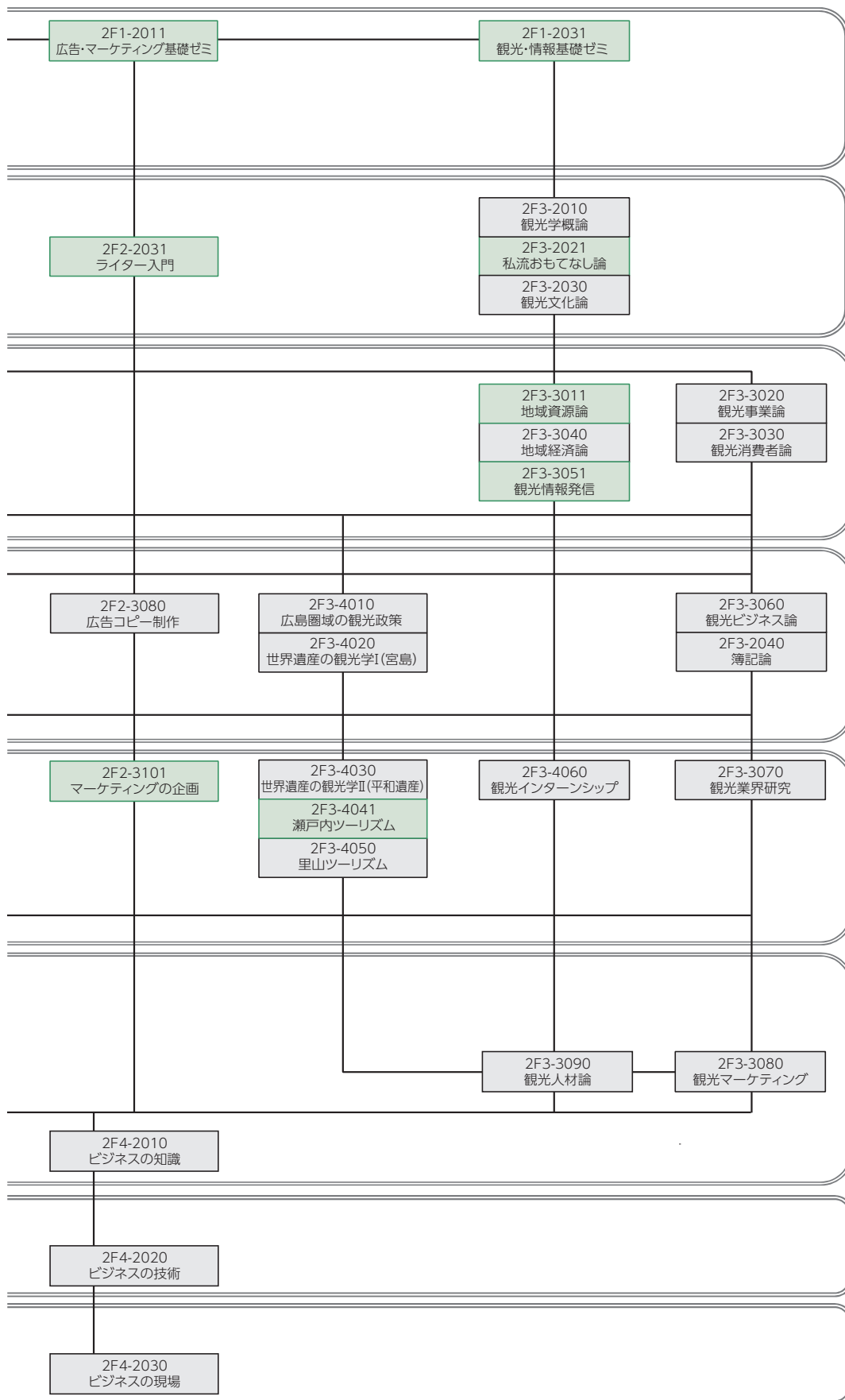
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 F 1 - 2 02 1 「映像・取材基礎ゼミ」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

■ コア・アクティブ・ラーニング科目



**ナンバリング  
各コードの詳細**

[学部番号]	
2	大学

[学問分野]	
F1	マスコミュニケーションコア科目 (基礎科目・特別研究などの必修系)
F2	メディア系
F3	観光系
F4	ビジネス系

[難易度]	
1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展
5	レベル 5 専攻科
6	レベル 6 大学院

[通し番号]	
01	順次
[コア・アクティブ・ラーニング科目]	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(5) 専門教育科目 現代文化学部 社会臨床心理学科 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業 すべき 時間数	単位数		提供 科目	開 講 時 期								卒業要件
				必修	選択		1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目	心理学概論	講義	30	2			○								必修14単位
	臨床心理学概論	講義	30	2				○							
	心理学研究法A	講義	30	2			○								
	心理学研究法B	講義	30	2				○							
	心理学統計法	講義	30	2				○							
	心理学実験	演習	60	4				○							
専門領域科目	知覚・認知心理学	講義	30		2	☆	○								演習 2 単位を含め 22単位以上
	学習・言語心理学	講義	30		2	☆		○							
	感情・人格心理学	講義	30		2	☆				○					
	神経・生理心理学	講義	30		2	☆			○						
	社会・集団・家族心理学A	講義	30		2	☆		○							
	社会・集団・家族心理学B	講義	30		2	☆						○			
	発達心理学A	講義	30		2	☆	○								
	発達心理学B	講義	30		2	☆							○		
	障害者・障害児心理学	講義	30		2	☆		○							
	心理的アセスメント	講義	30		2	☆			○						
	心理学的支援法A	講義	30		2	☆			○						
	心理学的支援法B	講義	30		2	☆			○						
	心理学的支援法C	講義	30		2	☆				○					
	知覚・認知心理学演習	演習	30		2							○			
	社会・集団・家族心理学演習	演習	30		2							○			
	教育・学校心理学演習	演習	30		2							○			
	発達心理学演習	演習	30		2							○			
	臨床心理学演習A	演習	30		2							○			
臨床心理学演習B	演習	30		2							○				
臨床心理学演習C	演習	30		2							○				
発展科目	社会臨床心理学	講義	30	2					○					必修 4 単位	
	社会臨床心理学演習	演習	30	2						○					
実践科目	公認心理師の職責	講義	30		2					○				必修 6 単位を含め 26単位以上選択必修	
	健康・医療心理学	講義	30		2				○						
	福祉心理学	講義	30		2				○						
	教育・学校心理学	講義	30		2			○							
	司法・犯罪心理学	講義	30		2					○					
	産業・組織心理学	講義	30		2						○				
	人体の構造と機能及び疾病	講義	30		2					○					
	精神疾患とその治療	講義	30		2						○				
	関係行政論	講義	30		2							○			
	心理演習A	演習	30	2			○								
	心理演習B	演習	60	4								○			
	心理実習A	実習	60		2				○						
	心理実習B	実習	60		2					○					
	心理演習(総合) I	演習	30		2						○				
	心理演習(総合) II	演習	30		2							○			
	心理演習(総合) III	演習	30		2								○		
心理演習(総合) IV	演習	30		2								○			
特別研究	特別研究 I	演習	30	2								○		必修 4 単位	
	特別研究 II	演習	30	2									○		
卒業論文	卒業論文			4									○	必修 4 単位	

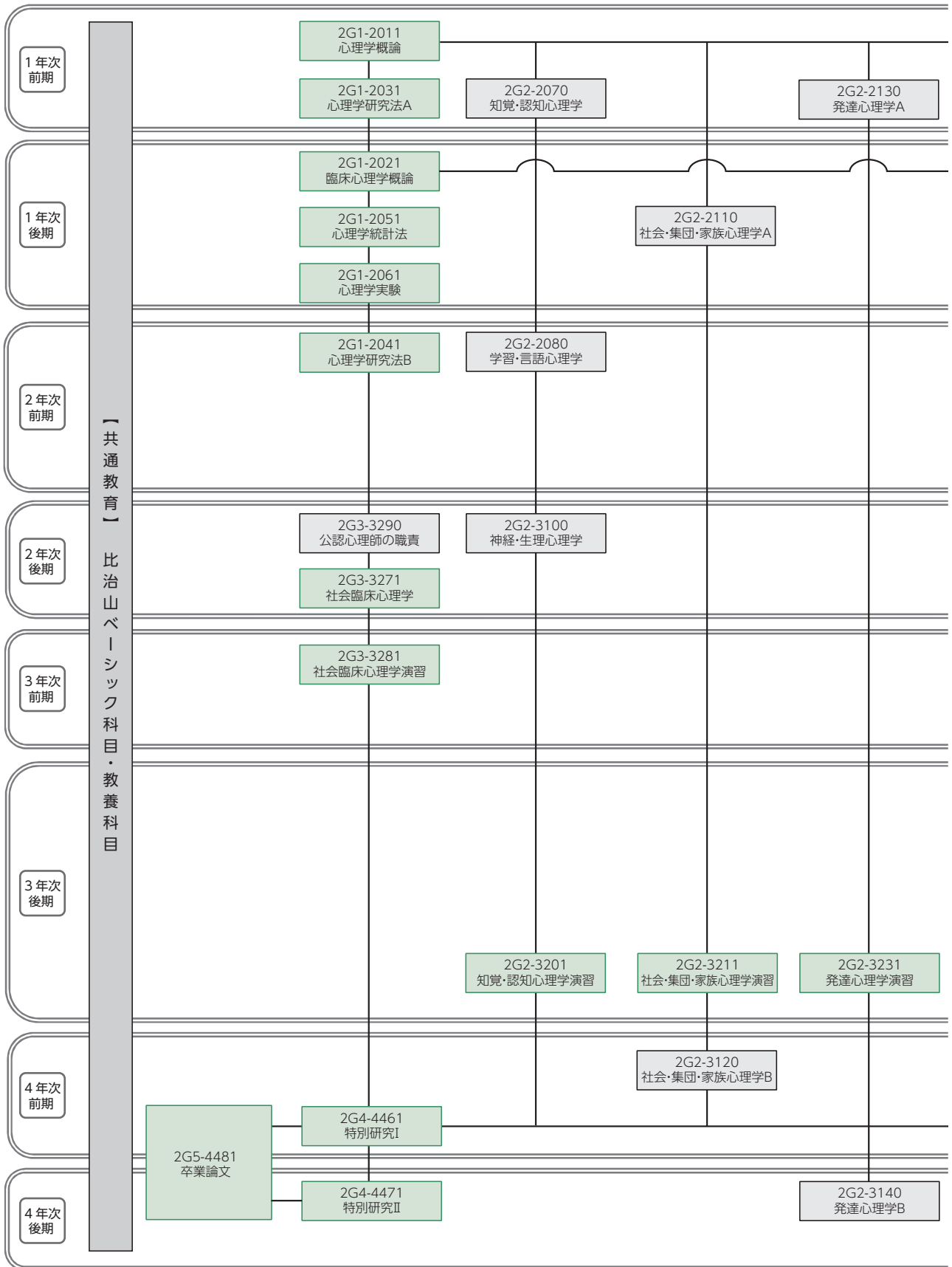
計 74 単位以上

☆は、言語文化学科、マスコミュニケーション学科、子ども発達教育学科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

学科コース		社会臨床心理学科				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修4単位		24単位
		キャリア形成		必修2単位以上		
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
			外国語	必修1単位を含め、4単位以上選択必修		
	情報	必修1単位を含め、2単位以上選択必修				
	教養科目	人間		2単位以上選択必修		
		文化		2単位以上選択必修		
社会(地域・国際)		2単位以上選択必修				
専門教育科目	基礎科目		14単位		70単位	
	専門領域科目		22単位			
	発展科目		4単位			
	実践科目		26単位			
	特別研究		4単位			
卒業論文		4単位				
計		124単位 ※				

※他学科が提供している専門教育科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。



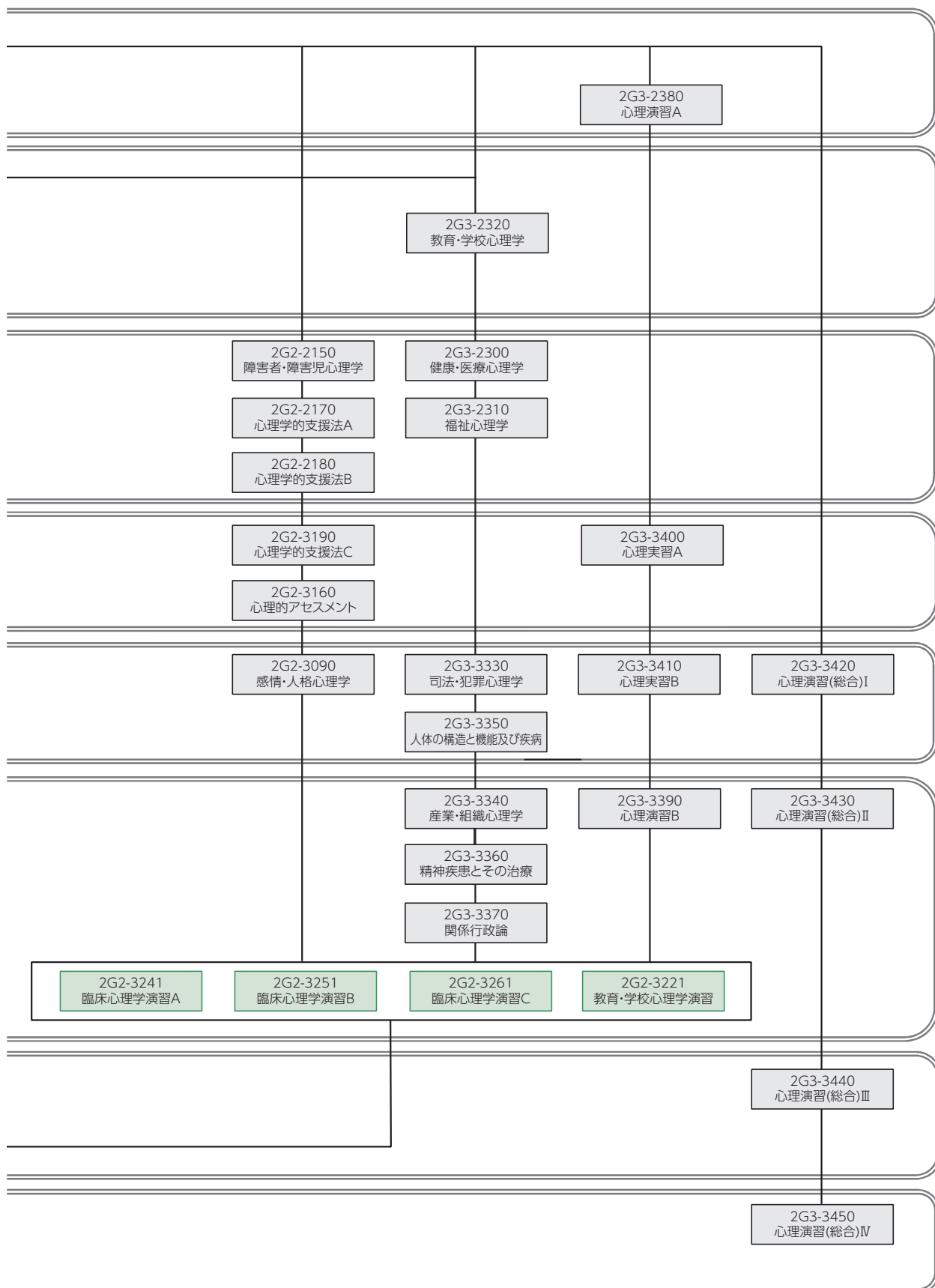
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 G 1 - 2 01 1 「心理学概論」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

■ コア・アクティブ・ラーニング科目



**ナンバリング  
各コードの詳細**

[学部番号]	
2	大学

[学問分野]	
G1	社会臨床心理コア科目(基礎科目)
G2	専門領域科目
G3	発展科目
G4	実践科目
G5	研究系科目

[難易度]	
1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

[通し番号]	
01	順次
[コア・アクティブ・ラーニング科目]	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(6) 専門教育科目 現代文化学部 子ども発達教育学科 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業 すべき 時間数	単位数		提供 科目 目	開 講 時 期								卒業要件
				必修	選択		1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基本科目	現代社会と子ども	講義	30	2			○								必修4単位を含め 8単位以上
	教職入門	講義	30		2		○								
	保育者論	講義	30		2		○								
	教育基礎論	講義	30	2				○							
	保育の心理学	講義	30		2			○							
	教育心理学	講義	30		2					○					
	教育の制度と経営	講義	30		2					○					
	保育原理	講義	30		2			○							
	社会福祉	講義	30		2						○				
	子ども家庭福祉	講義	30		2			○							
	基盤演習(教育学A)	演習	30		2				○						
	基盤演習(保育学A)	演習	30		2				○						
	基盤演習(学校教育学A)	演習	30		2				○						
	基盤演習(教育学B)	演習	30		2					○					
	基盤演習(保育学B)	演習	30		2					○					
基盤演習(学校教育学B)	演習	30		2					○						
教育学・心理学系科目	教育課程総論	講義	15		1						○				4単位以上
	教育評価論	講義	30		2							○			
	道德教育の理論と方法	講義	30		2					○					
	特別活動の指導法	講義	15		1						○				
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15		1						○				
	教育の方法と技術	講義	15		1					○					
	特別支援教育論	講義	30		2							○			
	生徒・進路指導論	講義	30		2							○			
	子どもの発達と教育相談	講義	30		2						○				
	子ども理解の理論と方法	演習	30		2					○					
	子ども家庭支援の心理学	講義	30		2						○				
	環境教育論	講義	30		2					○					
	子どもと人権	講義	30		2	☆				○					
	現代教育政策概論	講義	30		2							○			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15		1						○				
プログラミング教育の理論と方法	講義	30		2							○				
保育・幼児教育系科目	子ども家庭支援論	講義	30		2						○				
	社会的養護 I	講義	30		2		○								
	社会的養護 II	演習	30		2					○					
	子どもの保健	講義	30		2					○					
	子どもの食と栄養	演習	30		2					○					
	幼児教育課程論	講義	30		2						○				
	保育内容総論	演習	30		2		○								
	保育指導法(健康)	演習	30		2					○					
	保育内容(健康)	講義	30		2					○					
	保育指導法(人間関係)	演習	30		2							○			
	保育内容(人間関係)	講義	30		2							○			
	保育指導法(環境)	演習	30		2								○		
	保育内容(環境)	講義	30		2								○		
	保育指導法(言葉)	演習	30		2									○	
	保育内容(言葉)	講義	30		2										○
	保育指導法(表現 I)	演習	30		2						○				
	保育指導法(表現 II)	演習	30		2							○			
	保育内容(表現)	講義	30		2					○					
	保育内容の理解と方法 I	演習	30		2								○		
	保育内容の理解と方法 II	演習	30		2									○	
	乳児保育 I	講義	30		2						○				
	乳児保育 II	演習	30		2									○	
	子どもの健康と安全	演習	30		2					○					
障がい児保育	演習	30		2					○						
子育て支援	演習	30		2									○		
保育実践研究	演習	30		2									○		

\*次ページ



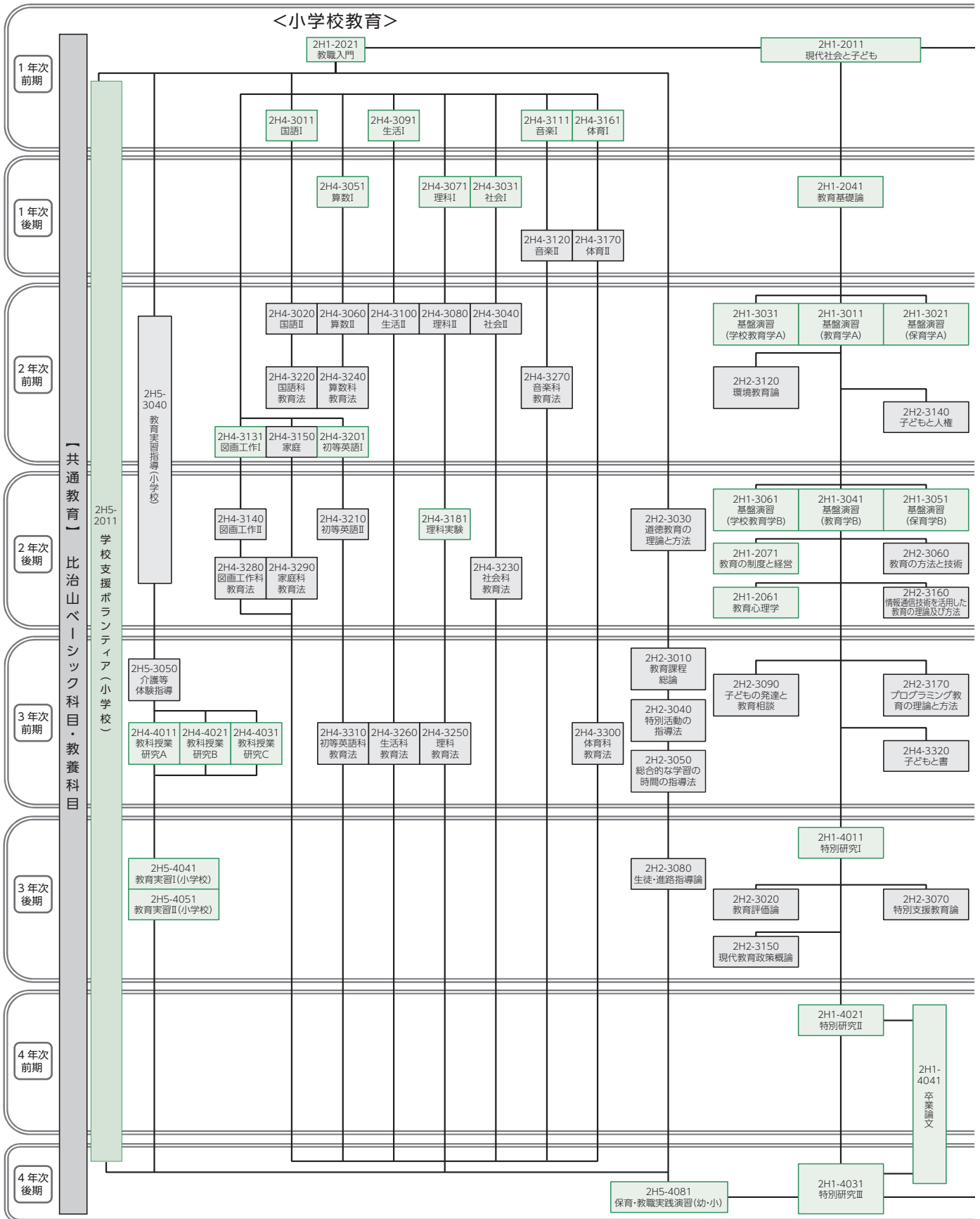
科目区分	授業科目	授業方法	授業時間数	単位数		提供科目	開講時期								卒業要件					
				必修	選択		1年		2年		3年		4年							
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
教科教育系科目	国語Ⅰ	講義	30	2			○													
	国語Ⅱ	講義	30	2					○											
	社会Ⅰ	講義	30	2					○											
	社会Ⅱ	講義	30	2						○										
	算数Ⅰ	講義	30	2						○										
	算数Ⅱ	講義	30	2							○									
	理科Ⅰ	講義	30	2								○								
	理科Ⅱ	講義	30	2									○							
	生活Ⅰ	講義	30	2										○						
	生活Ⅱ	講義	30	2											○					
	音楽Ⅰ	演習	30	1												○				
	音楽Ⅱ	演習	30	1													○			
	図画工作Ⅰ	演習	30	1														○		
	図画工作Ⅱ	演習	30	1															○	
	家庭	講義	30	2																
	体育Ⅰ	演習	30	1													○			
	体育Ⅱ	演習	30	1														○		
	理科実験	実習	30	1															○	
	初等英語Ⅰ	講義	30	2																
	初等英語Ⅱ	講義	30	2																
	国語科教育法	講義	30	2																
	社会科教育法	講義	30	2																
	算数科教育法	講義	30	2																
	理科教育法	講義	30	2																
	生活科教育法	講義	30	2																
	音楽科教育法	講義	30	2																
	図画工作科教育法	講義	30	2																
	家庭科教育法	講義	30	2																
	体育科教育法	講義	30	2																
	初等英語科教育法	講義	30	2																
教科授業研究A	演習	30	1																	
教科授業研究B	演習	30	1																	
教科授業研究C	演習	30	1																	
子どもと書	演習	30	2																	
実習系科目	保育実習指導Ⅰ	演習	30	2																
	保育実習指導Ⅱ	演習	30	1																
	保育実習指導Ⅲ	演習	30	1																
	保育実習Ⅰ(保育所・施設)	実習	180	4																
	保育実習Ⅱ(保育所)	実習	90	2																
	保育実習Ⅲ(施設)	実習	90	2																
	教育実習指導	講義	15	1																
	教育実習Ⅰ(小学校)	実習	90	2																
	教育実習Ⅱ(小学校)	実習	90	2																
	教育実習Ⅲ(幼稚園)	実習	90	2																
	教育実習Ⅳ(幼稚園)	実習	90	2																
	介護等体験指導	演習	15	1																
	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	30	2																
	学校支援ボランティア	実習	30	1																
	特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	2															
特別研究Ⅱ		演習	30	2																
特別研究Ⅲ		演習	30	2																
卒業論文	卒業論文		4																	

合計60単位

必修6単位

必修4単位

☆は、言語文化学科、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科への提供科目です。



比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

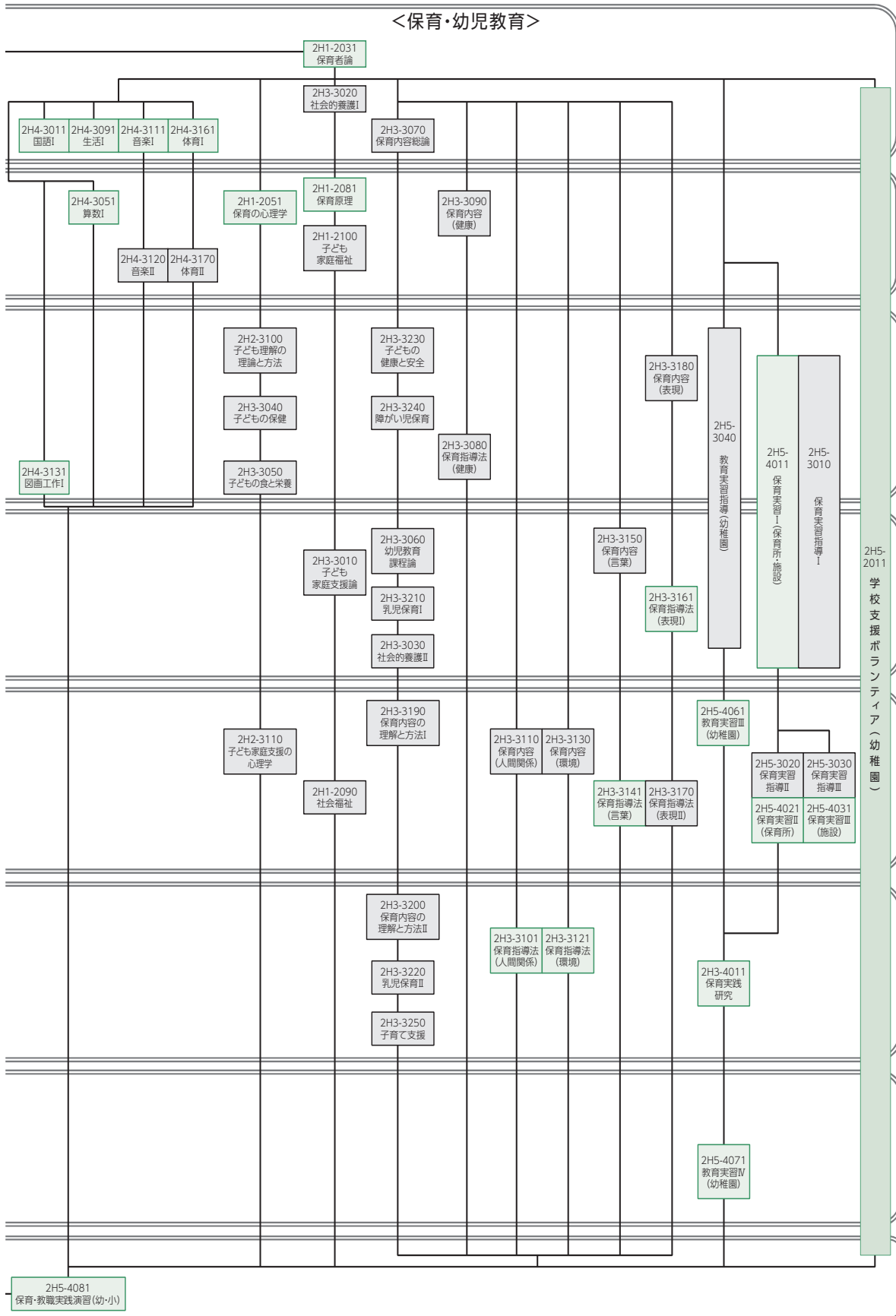
**ナンバリングのコード規則**

(例) 2 H 1 - 2 01 1 「現代社会と子ども」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

■ コア・アクティブ・ラーニング科目

<保育・幼児教育>



**ナンバリング  
各コードの詳細**

[学部番号]	
2	大学

[学問分野]	
H1	子ども発達教育コア科目(基本科目・特別研究などの必修系)
H2	教育学・心理学系科目
H3	保育・幼児教育系科目
H4	教科教育系科目
H5	実習系科目

[難易度]	
1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

[通し番号]	
01	順次
[コア・アクティブ・ラーニング科目]	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

卒業に必要な単位数

学科コース		子ども発達教育学科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベシク科目	スタートアップ		必修4単位	24単位
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め、2単位以上選択必修	
			外国語	必修1単位を含め、4単位以上選択必修	
		情報	必修1単位を含め、2単位以上選択必修		
	教養科目	人間		2単位以上選択必修	
		文化		2単位以上選択必修	
社会(地域・国際)		2単位以上選択必修			
専門教育科目	基本科目		必修4単位を含め、12単位	60単位	
	特別研究		6単位		
卒業論文		4単位			
計		124単位 ※			

※他学科が提供している専門教育科目，学校図書館司書教諭資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

(7) 健康栄養学部 管理栄養学科 教育課程表

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								卒業要件	栄養士	管理栄養士	栄養教諭			
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次								
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
比治山ベーシック科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	演習	30	2		○								4単位	○	○	○		
		初年次セミナーⅡ	演習	30	2			○								○	○	○		
	キャリア形成	キャリアデザイン	講義	30	2				○							必修2単位以上	○	○	○	
		キャリアデザイン演習A	演習	30	2					○										
		キャリアデザイン演習B	演習	30	2						○									
		キャリアデザイン演習C	演習	30	2							○								
		インターンシップA	実習	45	1					○										
		インターンシップB	実習	90	2					○										
	日本語	日本語リテラシー	演習	30	1		○								必修1単位を含め2単位以上選択必修	○	○	○		
		日本語表現	演習	30	1			○												
		日本語基礎	演習	30	1			○												
		外国語	英語リテラシー	演習	30	1		○								必修1単位を含め4単位以上選択必修 英語Ⅰまたは英語基礎Ⅰのいずれか1つを選択必修	○	○	○	
			英語Ⅰ	演習	30	1			○											
			英語Ⅱ	演習	30	1				○										
			英語Ⅲ	演習	30	1					○									
			英語基礎Ⅰ	演習	30	1			○											
			英語基礎Ⅱ	演習	30	1				○										
			英語基礎Ⅲ	演習	30	1					○									
			英会話Ⅰ	演習	30	1	○													
			英会話Ⅱ	演習	30	1		○												
	中国語Ⅰ		演習	30	1	○														
	情報	情報リテラシー	演習	30	1		○								必修1単位を含め2単位以上選択必修	○	○	○		
		情報処理演習A	演習	30	1			○												
		情報処理演習B	演習	30	1				○											
		情報処理演習C	演習	30	1					○										
		データサイエンス入門	演習	30	2			○												
		プログラミング基礎	演習	30	2				○											
	教養科目	人間	人間と生命	講義	30	2	□								7単位以上選択必修※					
			こころの科学A	講義	30	2		□												
			こころの科学B	講義	30	2	□													
こころの健康A			講義	30	2	□														
こころの健康B			講義	30	2		□													
人間の発達A			講義	30	2		□													
人間の発達B			講義	30	2	□														
からだを科学する			講義	30	2	□	□													
食事と健康			講義	30	2		□													
ウエルネス論			講義	30	2	○											●	●	●	
文化		スポーツA	実技	30	1	○										●	●	●		
		スポーツB	実技	30	1															
		現代の文化	講義	30	2	□														
		子どもの文化	講義	30	2		□													
		日本の文学を読む	講義	30	2	□														
		世界の文学を読む	講義	30	2	□														
		ことばの世界	講義	30	2	□														
		美術の世界	講義	30	2	□														
		音楽の世界	講義	30	2		□													
		日本の映画を観る	講義	30	2	□														
世界の映画を観る	演習	30	2	□																
くらしの数学	演習	30	2	□																
文芸への誘い	演習	30	2		□															
美術を体験する	演習	30	2		□															
地域文化を体験するA	演習	30	2	□																
地域文化を体験するB	演習	30	2	□																

I 大・学修の手引き

II 大・履修の手引き

III 学籍について

IV 子ども発達教育専攻科  
学修・履修の手引き

V 関係規程集

大学院

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								卒業要件	栄養士	管理栄養士	栄養教諭	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教 養 科 目	ひろしま学 A	講義	30		2	<input type="checkbox"/>												
	ひろしま学 B	講義	30		2		<input type="checkbox"/>											
	日本国憲法	講義	30		2						○							●
	人権を考える	講義	30		2		<input type="checkbox"/>											
	ボランティアワーク I	演習	30		2		○											
	ボランティアワーク II	演習	30		2		○											
	異文化を知る	講義	30		2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
	世界と日本 A	講義	30		2	<input type="checkbox"/>												
	世界と日本 B	講義	30		2		<input type="checkbox"/>											
	地球環境を考える A	講義	30		2	<input type="checkbox"/>												
	地球環境を考える B	演習	30		2	<input type="checkbox"/>												
	Hijiyama Global Studies 海外実習	実習	60		2		○											

◎卒業必修科目(資格必修科目を含む) ●資格必修科目

○該当学期に開講する科目 □1～4年次の学期に開講する科目(履修の手引きで履修条件を確認すること)

※ウエルネス論, スポーツAの3単位を含む

### 卒業に必要な 単位数

共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修4単位	24単位以上
		キャリア形成		必修2単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修1単位を含め, 2単位以上選択必修	
	外国語		必修1単位を含め, 4単位以上選択必修		
	情報		必修1単位を含め, 2単位以上選択必修		
教養科目	人間		7単位以上選択必修※		
	文化				
	社会(地域・国際)				

※資格必修科目(ウエルネス論, スポーツA)の3単位を含む

### 共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目

健康栄養学部では以下の科目が共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目です。

2C0-1011 初年次セミナー I

2C0-1021 初年次セミナー II

0C0-1111 キャリアデザイン

2C0-2111 キャリアデザイン演習A

0D0-1211 日本語リテラシー

0D0-1221 日本語表現

0D0-1231 日本語基礎

0D0-1311 英語リテラシー

0D0-1321 英語 I

0D0-1351 英語基礎 I

科目区分	授業科目	授業方法	授業 すべき 時間数	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件	栄養士	管理 栄養士	栄養 教諭	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
導入分野	管理栄養論	講義	30	2			○							必修 4単位	○	○	○	
	基礎化学	講義	30	2	○													
	基礎生物学	講義	30	2		○										○	○	○
社会・環境と健康	健康科学論	講義	30	2		○								必修 4単位	○	○	○	
	健康心理学	講義	30	2		○										●	●	
	公衆衛生学	講義	30	2						○					○	○	○	
	栄養情報実習	実習	45	1		○										●	●	
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	講義	30	2				○						必修 10単位	○	○	○	
	解剖生理学Ⅱ	講義	30	2				○								●	●	
	疾病論Ⅰ	講義	30	2					○						○	○	○	
	疾病論Ⅱ	講義	30	2						○						●	●	
	疾病論Ⅲ	講義	30	2							○					●	●	
	運動生理学	講義	30	2				○							○	○	○	
	運動生理学実習	実習	45	1						○						●	●	
	生化学	講義	30	2				○							○	○	○	
	栄養生化学	講義	30	2					○						○	○	○	
	生化学実験	実験	45	1						○						●	●	
食べ物と健康	食品学	講義	30	2			○							必修 15単位	○	○	○	
	基礎分析実験	実験	45	1		○									○	○	○	
	食品学実験	実験	45	1					○						○	○	○	
	食品加工学	講義	30	2					○						○	○	○	
	食品加工学実習	実習	45	1						○					○	○	○	
	食品衛生学	講義	30	2					○						○	○	○	
	食品衛生学実習	実習	45	1						○					○	○	○	
	調理学	講義	30	2			○								○	○	○	
	調理学実習Ⅰ	実習	45	1		○									○	○	○	
	調理学実習Ⅱ	実習	45	1			○								○	○	○	
栄養学基礎	栄養学	講義	30	2			○							必修 3単位	○	○	○	
	栄養学実験	実験	45	1			○								○	○	○	
	応用栄養学	講義	30	2			○									●	●	
	ライフステージ栄養学	講義	30	2				○							○	○	○	
	ライフステージ栄養学実習	実習	45	1					○						○	○	○	
応用栄養学	栄養ケア・マネジメント	講義	30	2				○						必修 5単位	○	○	○	
	栄養ケア・マネジメント演習	演習	30	2					○							●	●	
	栄養教育論Ⅰ	講義	30	2		○									○	○	○	
	栄養教育論Ⅱ	講義	30	2			○								○	○	○	
	カウンセリング論	講義	30	2				○								●	●	
栄養教育論	栄養教育論実習	実習	45	1				○						○	○	○		
	臨床栄養学Ⅰ	講義	30	2				○						○	○	○		
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅱ	講義	30	2					○						●	●		
	臨床栄養学Ⅲ	講義	30	2						○					●	●		
	薬理学	講義	30	2							○				●	●		
	臨床栄養活動論	演習	30	2							○				●	●		
	臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45	1					○					○	○	○		
	臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45	1						○					●	●		
												○			○	○	○	

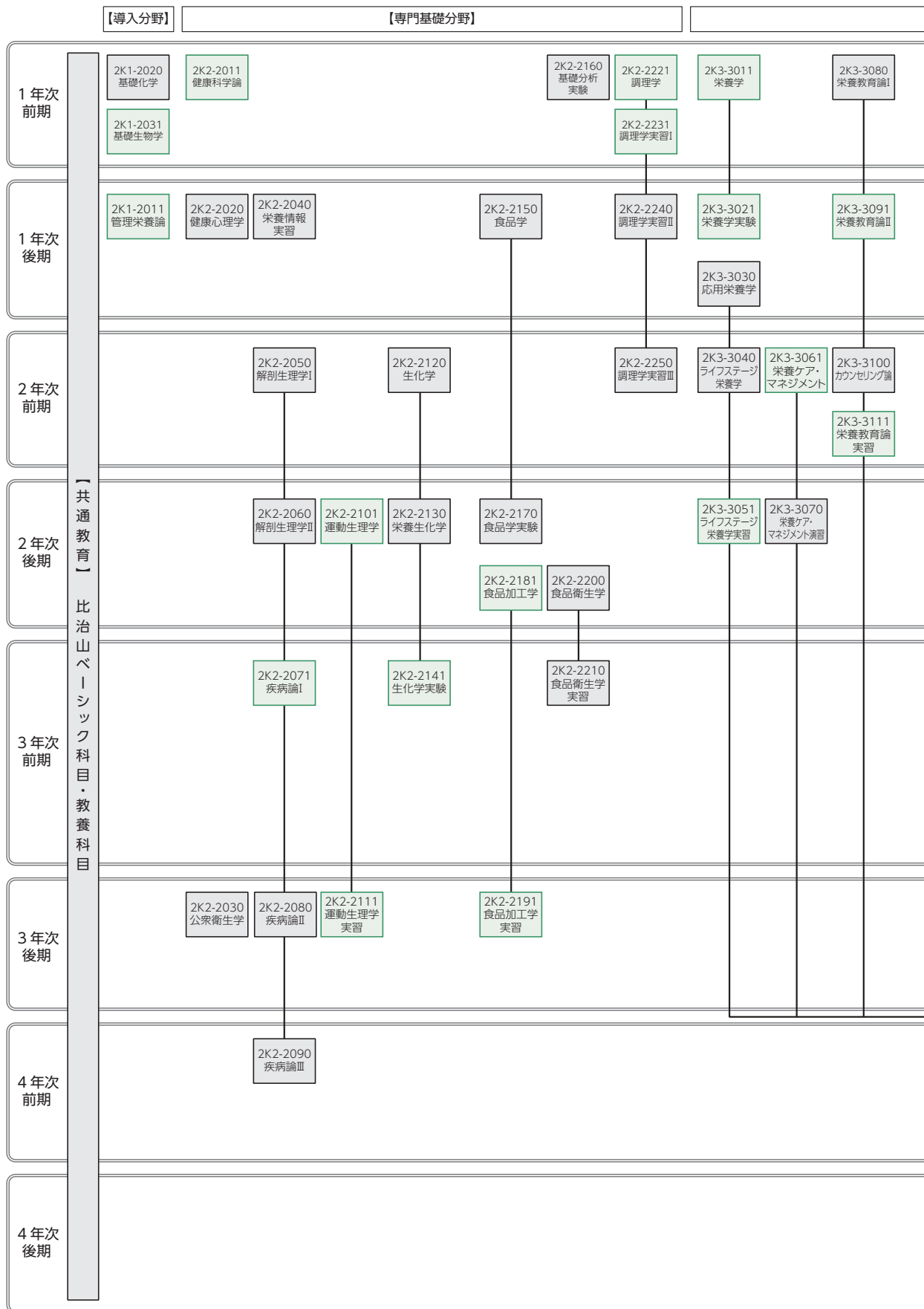
○卒業必修科目(資格必修科目を含む) ●資格必修科目

科目区分	授業科目	授業方法	授業 すべき 時間数	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件	栄養士	管理 栄養士	栄養 教諭					
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
専門分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	30	2					○				必修 2単位	○	○	○					
		公衆栄養学Ⅱ	講義	30	2						○						●	●				
		公衆栄養学実習	実習	45	1							○						●	●			
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	講義	30	2				○						必修 4単位	○	○	○				
		給食経営管理論Ⅱ	講義	30	2				○								●	●				
		給食経営管理実習Ⅰ	実習	45	1					○							○	○				
		給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	1						○						○	○				
	演習 総合	総合演習Ⅰ	演習	30	1						○				必修 1単位	○	○	○				
		総合演習Ⅱ	演習	30	1								○				●	●				
	臨地実習	給食経営管理臨地実習Ⅰ(給食の運営)	実習	40	1						○				必修 1単位	○	○	○				
		給食経営管理臨地実習Ⅱ	実習	40	1								○				●※	●※				
		公衆栄養学臨地実習	実習	40	1								○				●※	●※				
		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	実習	40	1								○				●	●				
		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	実習	40	1								○				●	●				
	専門教育科目	関連領域 臨床・福祉	カウンセリング演習	演習	30	2					○				4単位 以上 選択必修	※4 単位 以上	※4 単位 以上	※4 単位 以上				
			運動処方論	講義	30	2						○										
			スポーツ栄養学	講義	30	2					○											
		子ども関連 領域	子どもの食	講義	30	2					○											
			子ども発達心理学	講義	30	2						○										
			子どもの保健	講義	30	2						○										
地域貢献・連携領域		ひろしまの食	講義	30	2				○					必修 6単位								
		地域活動論	講義	30	2				○													
		ひろしまの食と健康・栄養活動A	演習	30	2					○												
		ひろしまの食と健康・栄養活動B	演習	30	2					○												
	地域課題研究Ⅰ	演習	30	2						○					○	○	○					
	地域課題研究Ⅱ	演習	30	2								○				○	○					
	地域課題研究Ⅲ	演習	30	2									○			○	○					
専門発展分野 栄養教諭養成領域	学校栄養教育指導論	講義	30	2						○							●					
	学校栄養教育実践論	講義	30	2							○						●					
	教育基礎論	講義	30	2		○											●					
	教職入門	講義	30	2	○												●					
	教育の制度と経営	講義	30	2				○									●					
	教育心理学	講義	30	2					○								●					
	特別支援教育論	講義	15	1				○									●					
	教育課程総論	講義	15	1				○									●					
	道德教育の理論と方法	講義	30	2						○							●					
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15	1					○								●					
	特別活動の指導法	講義	15	1					○								●					
	教育の方法と技術	講義	15	1					○								●					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15	1					○								●					
	生徒指導論	講義	30	2					○								●					
	教育相談(カウンセリングを含む。)	講義	30	2				○									●					
	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	実習	70	2								○					●					
	教職実践演習(栄養教諭)	演習	30	2									○				●					
総合演習領域 健康栄養	健康栄養総合演習Ⅰ	演習	30	2					○													
	健康栄養総合演習Ⅱ	演習	30	2						○												
	健康栄養総合演習Ⅲ	演習	30	2								○										
	健康栄養総合演習Ⅳ	演習	30	2									○									

◎卒業必修科目(資格必修科目を含む) ●資格必修科目 ●※資格必修科目どちらか1単位  
 栄養教諭一種免許状の取得を志望する場合はpp.70-71, pp.83-85を必ず確認してください。

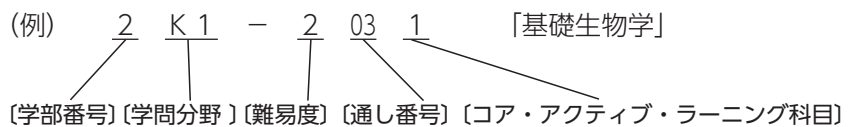




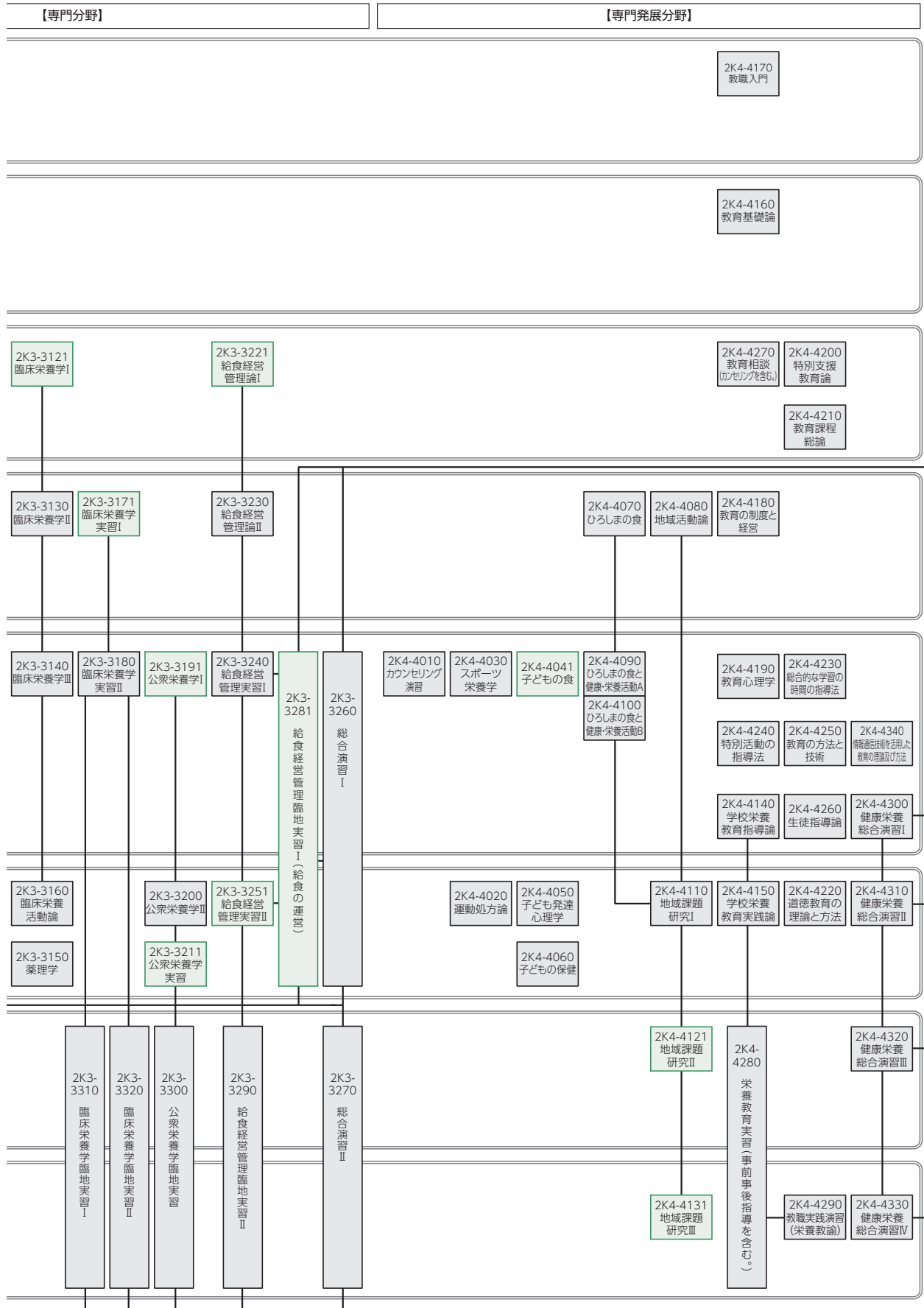


比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則



■ コア・アクティブ・ラーニング科目



**ナンバリング  
各コードの詳細**

【学部番号】	
2	大学

【学問分野】	
K1	管理栄養コア科目(導入分野)
K2	専門基礎分野
K3	専門分野
K4	専門発展分野

【難易度】	
1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

【通し番号】	
01	順次
【コア・アクティブ・ラーニング科目】	
1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

卒業に必要な単位数

学部学科		健康栄養学部 管理栄養学科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベータシッフ科目	スタートアップ		必修 4 単位	24 単位
		キャリア形成		必修 2 単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修 1 単位を含め、2 単位以上選択必修	
			外国語 情報	必修 1 単位を含め、4 単位以上選択必修 必修 1 単位を含め、2 単位以上選択必修	
	教養科目	人間		7 単位以上選択必修※	
		文化			
社会(地域・国際)					
専門教育科目	導入分野		必修 4 単位以上	必修63単位 を含む 67単位	
	専門基礎分野	社会・環境と健康			必修 4 単位以上
		人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち			必修 10 単位以上
		食べ物と健康			必修 15 単位
	専門分野	基礎栄養学			必修 3 単位
		応用栄養学			必修 5 単位以上
		栄養教育論			必修 5 単位以上
		臨床栄養学			必修 3 単位以上
		公衆栄養学			必修 2 単位以上
		給食経営管理論			必修 4 単位以上
		総合演習			必修 1 単位以上
		臨地実習			必修 1 単位以上
	専門発展分野	臨床・福祉関連領域			4 単位以上選択必修
		子ども関連領域			
		地域貢献・連携領域			必修 6 単位以上
		栄養教諭養成領域			
健康栄養総合演習領域					
計		124 単位			

※資格必修科目(ウエルネス論, スポーツA)の3単位を含む

## ● 地域課題研究

地域課題研究では、指導教員のもと、各自でテーマを決め、各自の報告書を作成し、報告会を実施します。詳細については、指導教員から別途説明がありますが、報告書および報告会の概略は次のとおりです。

<報告書>

### (1) 個人研究

- ・ A4判上質紙を縦置きで使用し、横書きとする。
- ・ 文書作成ソフトウェアを使用し、40字×25行で10ページを目安とする(ただし、表紙、目次はページ数に含まない)。
- ・ 表紙には、題目、学科名、学生番号、氏名、指導教員名を標記する。

### (2) 共同研究

- ・ 共同研究者は原則として3名までとする。
- ・ 書式等は個人研究に準じる。
- ・ 共同研究においても、報告書は原則として個人で作成する。

### (3) ファイルに挟んで1部提出する。

<報告会>

### (1) 個人研究

- ・ プレゼンテーションソフトを使用し、口頭発表を行う。

### (2) 共同研究

- ・ 個人研究に準じる。

なお、地域課題研究には、I、II、IIIがあり、IIおよびIIIには次のとおり履修要件があるので注意してください。

地域課題研究IIは、地域課題研究Iを履修していること。

地域課題研究IIIは、地域課題研究IIを履修していること。

## ● 臨地実習と免許・資格との関連について

臨地実習科目は次の5科目です。このうち栄養士免許証取得には①の科目の単位修得、管理栄養士国家試験受験資格取得には、①、④、⑤の3科目の単位修得に加え、②または③のいずれかの科目の単位修得が必要です。なお、実習時間はいずれの科目も学外(1日8時間×5日間)と学内(5時間)で45時間です。

- ①給食経営管理臨地実習I(給食の運営)
- ②給食経営管理臨地実習II
- ③公衆栄養学臨地実習
- ④臨床栄養学臨地実習I
- ⑤臨床栄養学臨地実習II

## ● 臨地実習の履修および実施要件について

臨地実習は、栄養士・管理栄養士をはじめとする多職種の専門職が連携し、利用者等に責任を持って業務を行っている現場において、実際に業務を体験して学修する実習であるため、比治山大学生としてだけでなく、社会人としての自覚を十分に持って行動することが求められます。したがって、臨地実習の実施にあたっては、栄養士・管理栄養士免許取得への積極的な態度と意欲、現場で学ぶという姿勢、そして基礎的な知識・技能だけでなく、社会人としてのマナーを身に付けておくことが必要です。さらに、臨地実習での経験を今後に活かすために、臨地実習後の大学等での学修を積極的に行うことも重要です。

臨地実習の履修および実施にあたっては、次に掲げる要件〔①～③〕を満たす必要があります。それぞれの「臨地実習」実施の可否については、①～③の3要件を満たしていることに加え、「臨地実習」実習生としての適性を考慮し、管理栄養士指導センター(管理栄養学科全教員を含む)で決定します。いずれかの「臨地実習」の実施が不可もしくは延期となった場合、管理栄養士国家試験受験資格を4年間で取得することができません。

- ①将来、栄養士・管理栄養士の職に就こうとする意欲や希望を有する。  
 ②次の表に示すそれぞれの臨地実習科目の基礎知識・技能に関連する指定科目の単位をすべて修得している。

臨地実習の種類 (科目)	指定科目
給食経営管理臨地実習Ⅰ (給食の運営)	給食経営管理論Ⅰ※・Ⅱ, 給食経営管理実習Ⅰ※, 食品衛生学※
給食経営管理臨地実習Ⅱ	給食経営管理臨地実習Ⅰ (給食の運営), 健康栄養総合演習Ⅰ
公衆栄養学臨地実習	公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ, 公衆栄養学実習, 健康栄養総合演習Ⅰ
臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ, 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ, 疾病論Ⅰ・Ⅱ, 健康栄養総合演習Ⅰ

※栄養士免許取得の場合

- ③次の表に示すそれぞれの臨地実習科目の事前および事後学修に関連する指定科目の単位を修得している、もしくは履修登録し、単位修得見込みである。

臨地実習の種類 (科目)	指定科目
給食経営管理臨地実習Ⅰ (給食の運営)	総合演習Ⅰ
給食経営管理臨地実習Ⅱ 公衆栄養学臨地実習 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	総合演習Ⅱ, 健康栄養総合演習Ⅱ

## (8) 留学生科目

次の日本語・日本事情科目は留学生だけが受講できる科目であり、学修状況に合わせて計画的に開設しています。これらの授業科目は学則第41条(116頁参照)により共通教育科目(比治山ベーシック科目内のコミュニケーションリテラシー「日本語」および「外国語」あるいは教養科目)の単位に代えることができます。詳しくはチューターまたは教務課に確認してください。

授業科目	開講 セメスター	単位数		授業科目	開講 セメスター	単位数	
		必修	選択			必修	選択
日本語ⅠA	1		1	日本語ⅡC	2		1
日本語ⅠB	1		1	日本語ⅡD	2		1
日本語ⅠC	1		1	日本事情ⅠA	1		2
日本語ⅠD	1		1	日本事情ⅠB	1		2
日本語ⅡA	2		1	日本事情ⅡA	2		2
日本語ⅡB	2		1	日本事情ⅡB	2		2
計							16

## (9) 副専攻

現代文化学部では、副専攻で体系的に他学科等の授業科目を履修し幅広い知識と教養を身につけることができます。詳しい内容や履修の時期については、副専攻の説明で確認をしてください。副専攻の種類は、次のとおりです。

副専攻	開設学科	受講対象者
国際コミュニケーション副専攻	言語文化学科 (国際コミュニケーションコース)	言語文化学科 (国際コミュニケーションコース) 以外の現代文化学部生

- 副専攻の申請は、履修登録時に行います。申請できる副専攻は、所属する学科・コース以外が提供する副専攻です。
- 副専攻の申請を取り消す場合は、教務課へ申し出てください。詳細は、掲示で連絡します。
- 副専攻を修了した学生には、副専攻修了証を授与します。申請手続きについては、掲示等で連絡します。申請手数料200円を添えて手続きしてください。ただし、卒業要件を満たしていない学生は、修了認定の対象とはなりません。

※申請手数料は2022年1月現在の金額です。都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。

## 【国際コミュニケーション副専攻】

## ① プログラムの目的・特徴

英語のコミュニケーションスキルを磨いていき、比較文化や異文化理解を通して多文化の視点を養っていきます。グローバルとローカルとを合わせたグローバルという視点に立ち、自ら英語で発信できる力を引き出します。

## ② 履修についてのアドバイス

英語による基礎的なコミュニケーションスキルを習得するために、英会話 I・II やベーシックコミュニケーションスキル I・II を履修します。基礎的なスキルを学んだあと、英語コミュニケーション I・II・III・IV で発展的なスキルを習得していきます。実際に学んだコミュニケーションスキルを実践するために、Hijiyama Global Studies 海外実習や異文化間コミュニケーション I・II・III を履修してみてもいいでしょう。さらに英語による応用的なコミュニケーションスキル習得に挑戦したい人は、Presentation Skills や Critical Thinking and Discussion を履修し、プレゼンテーション力や自己省察力を高めることができます。また Functional Expressions や Multimedia Communication を通して、英語による情報発信力を養うことも可能です。英語圏の文化に興味のある人は、英米音楽文化論、日英比較文化や英米映画文化論も履修できます。

国際コミュニケーションコースの副専攻は、英語による情報発信力の養成を中心に科目が配置されています。自分の意見を異文化の人に伝えたいと思う人はぜひ履修してみてください。

系列	授業科目	授業方法	単位数	開講時期								要件		
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
基礎科目	英会話 I	演習	1	○										
	英会話 II	演習	1		○									
	異文化を知る	講義	2	◎	◎									
英語コミュニケーション	ベーシックコミュニケーションスキル I	演習	2	○										
	ベーシックコミュニケーションスキル II	演習	2		○									
	英語コミュニケーション I	演習	2			○								
	英語コミュニケーション II	演習	2				○							
	英語コミュニケーション III	演習	2					○						
	英語コミュニケーション IV	演習	2						○					
	検定英語 I	演習	2			○								
	検定英語 II	演習	2				○							
	Presentation Skills	演習	2					○						
	Critical Thinking and Discussion	演習	2						○					
	Functional Expressions	演習	2						○					
Multimedia Communication	演習	2							○					
英語文化	英米音楽文化論	講義	2	○										
	日英比較文化	講義	2		○									
	英米映画文化論	講義	2			○								
海外実習	Hijiyama Global Studies 海外実習	実習	2	○										
	異文化間コミュニケーション I	演習	2	*										
	異文化間コミュニケーション II	演習	2	*										
	異文化間コミュニケーション III	演習	2			*								

20単位以上

(10) 免許・資格に関する教育課程表

教職課程に関連する科目

対象学科：言語文化学科

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								中学校教諭一種国語	高等学校教諭一種国語	中学校教諭一種英語	高等学校教諭一種英語	提供科目
						1年次		2年次		3年次		4年次						
						前	後	前	後	前	後	前	後					
教職課程に関連する科目	国語科教育法Ⅰ	講義	30	2				○					◎	◎			☆	
	国語科教育法Ⅱ	講義	30	2					○				◎	◎			☆	
	国語科教育法Ⅲ	講義	30	2						○			◎	◎			☆	
	国語科教育法Ⅳ	講義	30	2							○		◎	◎			☆	
	英語科教育法Ⅰ	講義	30	2			○								◎	◎	☆	
	英語科教育法Ⅱ	講義	30	2				○							◎	◎	☆	
	英語科教育法Ⅲ	講義	30	2					○						◎	◎	☆	
	英語科教育法Ⅳ	講義	30	2						○					◎	◎	☆	
	第二言語習得概論Ⅰ	講義	30	2			○								◎	◎	☆	
	第二言語習得概論Ⅱ	講義	30	2				○							◎	◎	☆	
	教育基礎論	講義	30	2		○							◎	◎	◎	◎	☆	
	教職入門	講義	30	2	○								◎	◎	◎	◎	☆	
	教育の制度と経営	講義	30	2				○					◎	◎	◎	◎	☆	
	教育心理学	講義	30	2					○				◎	◎	◎	◎	☆	
	特別支援教育論	講義	15	1			○						◎	◎	◎	◎	☆	
	教育課程総論	講義	15	1			○						◎	◎	◎	◎	☆	
	道德教育の理論と方法	講義	30	2						○			◎	◎	◎	◎	☆	
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15	1					○				◎	◎	◎	◎	☆	
	特別活動の指導法	講義	15	1					○				◎	◎	◎	◎	☆	
	教育の方法と技術	講義	15	1					○				◎	◎	◎	◎	☆	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15	1						○			◎	◎	◎	◎	☆	
	生徒・進路指導論	講義	30	2					○				◎	◎	◎	◎	☆	
	教育相談(カウンセリングを含む。)	講義	30	2			○						◎	◎	◎	◎	☆	
	教育実習指導	講義	30	1						○			◎	◎	◎	◎	☆	
	教育実習Ⅰ	実習	90	2							○		◎	◎	◎	◎	☆	
	教育実習Ⅱ	実習	90	2								○	◎	◎	◎	◎	☆	
	教職実践演習(中・高)	演習	30	2								○	◎	◎	◎	◎	☆	
	英語教授法	演習	30	2					○						◎	◎	☆	
	介護等体験指導	演習	15	1						○			◎		◎		☆	
	学校支援ボランティア	実習	30	1					○				◎	◎	◎	◎	☆	

(備考) ◎印は教職必修科目 ○印は選択科目  
 教職課程に関連する科目は、学科の専門教育科目以外の教職課程の科目を示す。



学校図書館司書  
教諭資格科目

対象学科：言語文化学科，子ども発達教育学科

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	時間数 授業すべき	単位数		開講時期								提供科目	
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
学校図書館司書 教諭資格科目	学校経営と学校図書館	講義	30		2			○							☆
	学校図書館メディアの構成	講義	30		2				○						☆
	学習指導と学校図書館	講義	30		2					○					☆
	読書と豊かな人間性	講義	30		2						○				☆
	情報メディアの活用	講義	30		2						○				☆

小学校・中学校・高等学校教諭の免許状取得希望者のみ履修が可能です。  
資格取得には、小学校・中学校・高等学校教諭の免許状の取得が必要です。

学芸員資格科目

対象学科：言語文化学科，マスコミュニケーション学科

<2023年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	時間数 授業すべき	単位数		開講時期								提供科目	
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
学芸員資格科目	生涯学習概論	講義	30		2					○					☆
	博物館概論	講義	30		2			○							☆
	博物館経営論	講義	30		2					○					☆
	博物館資料論	講義	30		2				○						☆
	博物館資料保存論	講義	30		2				○						☆
	博物館展示論	講義	30		2				○						☆
	博物館教育論	講義	30		2					○					☆
	博物館情報・メディア論	講義	30		2			○							☆
	博物館実習Ⅰ	実習	45		1							(○)			☆
	博物館実習Ⅱ	実習	90		2								(○)		☆

「博物館実習Ⅰ」，「博物館実習Ⅱ」を履修するためには，「生涯学習概論」，「博物館概論」，「博物館経営論」，「博物館資料論」，「博物館資料保存論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」，「博物館情報・メディア論」の単位をすべて修得している必要があります。

## 4 免許・資格について

### (1) 比治山大学で 取得できる 免許・資格

本学においては、次のような免許・資格等が取得できます。詳しい内容については、それぞれ該当の箇所をよく読んで履修してください。

各学科・コースで取得できる免許・資格等は次のとおりです。

免許・資格等	学科	言語文化学科		マスコミュ ニケーション 学科	社会臨床 心理学科	子ども 発達 教育学科	管理 栄養 学科
		日本語文 化コース	国際コミュ ニケーショ ンコース				
中学校教諭一種免許状(国語)		○					
高等学校教諭一種免許状(国語)		○					
中学校教諭一種免許状(英語)			○				
高等学校教諭一種免許状(英語)			○				
幼稚園教諭一種免許状						○	
小学校教諭一種免許状						○	
栄養教諭一種免許状							○
学校図書館司書教諭資格		○	○			○	
学芸員資格		○	○	○			
日本語教員養成課程修了証		○	○				
日本心理学会認定心理士資格					○		
日本心理学会認定心理士(心理調査)					○		
公認心理師受験資格					○		
保育士資格(保育士証)						○	
管理栄養士国家試験受験資格							○
栄養士免許証							○

### 免許・資格等取得に関わる費用

免許・資格等	実習・その他	申請費用
中学校教諭一種免許状(国語)	14,750円※	3,400円
高等学校教諭一種免許状(国語)	3,500円※	3,400円
中学校教諭一種免許状(英語)	14,750円※	3,400円
高等学校教諭一種免許状(英語)	3,500円※	3,400円
幼稚園教諭一種免許状	15,300円	3,400円
小学校教諭一種免許状	24,250円	3,400円
栄養教諭一種免許状	8,500円	3,400円
学校図書館司書教諭資格	—	—
学芸員資格	3,000円	200円
日本語教員養成課程修了証	—	200円
日本心理学会認定心理士資格	—	41,000円※
日本心理学会認定心理士(心理調査)	—	31,000円※
公認心理師受験資格	学科からお知らせします	—
保育士資格(保育士証)	37,550円	4,200円
管理栄養士国家試験受験資格	学科からお知らせします	6,800円
栄養士免許証	学科からお知らせします	5,600円

※実習校により実習費は変動します。

※日本心理学会認定心理士資格と日本心理学会認定心理士(心理調査)を同時申請する場合、51,500円となります。

上記は、2023年1月現在の金額です。それぞれの協会等の都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。

(2) 教育職員  
免許状の  
取得について

「比治山大学教職課程に関する規程」に基づき、本学で取得できる教育職員免許状および免許教科の種類は、次のとおりです。

免許状の種類	免許教科	免許状授与の所要資格を取得させるための課程を置く学部・学科・コース
中学校教諭一種免許状	国語	現代文化学部 言語文化学科日本語文化コース
高等学校教諭一種免許状	国語	現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース
中学校教諭一種免許状	英語	現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース
高等学校教諭一種免許状	英語	現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース
幼稚園教諭一種免許状		現代文化学部 子ども発達教育学科
小学校教諭一種免許状		現代文化学部 子ども発達教育学科
栄養教諭一種免許状		健康栄養学部 管理栄養学科

① 中学校・高等学校教諭  
一種免許状  
(国語) (英語)

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	現代文化学部において修得することを必要とする授業科目の単位数	
			共通教育科目	教科及び教職に関する科目
中学校教諭一種免許状(国語)		学士の学位を有すること	9	59
高等学校教諭一種免許状(国語)				59
中学校教諭一種免許状(英語)				60
高等学校教諭一種免許状(英語)				59

中学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

共通教育科目  
及び単位数

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○ウエルネス論	2	2
外国語 コミュニケーション	2	○英語リテラシー	1	1
		英語 I	1	2
		英語基礎 I	1	2
		英会話 I	1	1
情報機器の操作	2	○情報リテラシー	1	1
		情報処理演習A	1	2
		情報処理演習B	1	2
		情報処理演習C	1	3
		最低修得単位数	9	

(備考)○印は教職必修科目

教科及び教職に関する科目及び単位数

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	各科目1単位以上	日本語学入門		2	1	○は、一般的包括的内容を含む科目
			日本語概論 ○	2		2	
			日本語研究Ⅰ		2	3	
			日本語研究Ⅱ		2	4	
			日本語の歴史		2	5	
			日本語表現法Ⅰ	2		3	
			日本語表現法Ⅱ		2	4	
			日本語表現研究		2	6	
			日本語学演習	2		5	
			日本文学入門		2	1	
日本文学概論 ○	2		2				
日本文学研究Ⅰ		2	3				
日本文学研究Ⅱ		2	4				
日本文学の歴史 ○	2		5				
日本ファンタジー論		2	7				
日本文学演習	2		5				
日本文学講読		2	1				
漢文学	漢文学 ○	2		5			
書道(書写を中心とする。)	書道Ⅰ ○	2		3			
	書道Ⅱ	2		4			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中8 高4	国語科教育法Ⅰ	2		4	中一種免のみ開設し、必修	
		国語科教育法Ⅱ	2		5		
		国語科教育法Ⅲ	2		6		
		国語科教育法Ⅳ	2		7		
中一種免 計		28	中一種免 必要単位数		28	教科に関する専門的事項の選択科目から2単位選択必修	
高一種免 計		24	高一種免 必要単位数		24		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等	
				必	選			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修 ただし、高一種免取得希望者が修得した場合は、大学が独自に設定する科目に必要な単位として算入する	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5	上段は中一種免、 下段は高一種免	
	総合的な探究の時間の指導法							
	特別活動の指導法			特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術			教育の方法と技術	1		5	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		5	
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論	2		5	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—			
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修	
	教育実習		教育実習Ⅰ	2		7・8		
			教育実習Ⅱ		2	7・8		
	学校体験活動		—	—	—			
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8			
	中一種免 計	27	中一種免 必要単位数	27				
	高一種免 計	23	高一種免 必要単位数	23				
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	介護等体験指導	1		5・6	中一種免のみ開設し、必修	
			学校支援ボランティア		1	1～8	大学が独自に設定する科目として算入できる単位  中一種免 ①28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定する科目 ①②の中から4単位以上とする  高一種免 ①24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から12単位以上とする	
	中一種免 総計	59	中一種免 必要単位数	59				
	高一種免 総計	59	高一種免 必要単位数	59				

教科及び教職に関する科目及び単位数

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	各科目1単位以上	英語学概論 ○	2		2	○は、一般的包括的内容を含む科目
			英語の歴史 ○	2		4	
	対照言語学			2	4		
	英語文学		米文学概論 ○	2		2	
			英文学概論 ○	2		3	
			英米児童文学		2	6	
	英語コミュニケーション		英語コミュニケーションⅠ ○	2		3	
			英語コミュニケーションⅡ ○	2		4	
			Presentation Skills ○	2		5	
			Multimedia Communication ○	2		6	
ベーシックコミュニケーションスキルⅠ ○		2		1			
異文化理解	日英比較文化 ○	2		2			
	異文化理解実践研究 ○	2		3			
	異文化間コミュニケーションⅠ		2	1・2			
	異文化間コミュニケーションⅡ		2	1・2			
	異文化間コミュニケーションⅢ		2	3・4			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中8 高4	英語科教育法Ⅰ	2		3		
		英語科教育法Ⅱ	2		4		
		英語科教育法Ⅲ	2		5		
		英語科教育法Ⅳ	2		6		
		第二言語習得概論Ⅰ		2	3		
		第二言語習得概論Ⅱ		2	4		
中一種免 計		28	中一種免 必要単位数		30		
高一種免 計		24	高一種免 必要単位数		30		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修 ただし、高一種免取得希望者が修得した場合は、大学が独自に設定する科目に必要な単位として算入する
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	5	上段は中一種免、 下段は高一種免	
	総合的な探究の時間の指導法						
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		5	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		5	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		5	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—	
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修
	学校体験活動		教育実習Ⅰ	2		7・8	
			教育実習Ⅱ		2	7・8	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8	
	中一種免 計	27	中一種免 必要単位数	27			
	高一種免 計	23	高一種免 必要単位数	23			
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	英語教授法	2		5	中一種免のみ開設し、必修  大学が独自に設定する科目として算入できる単位  中一種免 ①28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定する科目 ①②の中から4単位以上とする  高一種免 ①24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から12単位以上とする
			介護等体験指導	1		5・6	
			学校支援ボランティア		1	1～8	
	中一種免 総計	59	中一種免 必要単位数	60			
	高一種免 総計	59	高一種免 必要単位数	59			

教科及び教職に関する科目についての履修条件は以下の通りです。

(1)各教科教育法の履修条件について

- ① 各教科教育法Ⅱは、各教科教育法Ⅰの単位の修得が必要です。
- ② 各教科教育法Ⅲは、各教科教育法Ⅱの単位の修得が必要です。
- ③ 各教科教育法Ⅳは、各教科教育法Ⅲの単位の修得が必要です。

(2)「教育実習指導」,「教育実習Ⅰ」,「教育実習Ⅱ」の履修条件について

- ① 「教育実習指導」の履修は、「教職入門」,「教育基礎論」,「教育相談(カウンセリングを含む)」,国語は「国語科教育法Ⅱ」,英語は「英語科教育法Ⅲ」のすべての単位の修得が必要です。
- ② 「教育実習Ⅰ」,「教育実習Ⅱ」の履修は、「教育実習指導」の単位修得と、国語は「国語科教育法Ⅲ」,英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位修得が必要です。
- ③ 国語は「教育実習Ⅰ」,「教育実習Ⅱ」の履修登録と合わせて、「国語科教育法Ⅳ」の履修が必要です。

(3)「教職実践演習(中・高)」の履修条件について

- ① 「教育実習Ⅰ」,「教育実習Ⅱ」(高等学校教諭一種免許状のみ取得者にあつては「教育実習Ⅰ」)の単位を修得、または修得見込みであること(過年度生も同様)。
- ② 教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中・高)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、または履修中であること。
- ③ 国語は「国語科教育法Ⅳ」,英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位を修得していること。
- ④ 1年次に購入した履修カルテに、4年間通して記入していること。

(4)履修カルテについて

- ① 教員免許状取得に必要です。
- ② 「教職入門」(1年前期)で各自履修カルテを購入し、4年間を通して保管し記入してください。

(5)その他

編入生については、別途履修指導を行います。



② 幼稚園・小学校  
教諭一種免許状

## 子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状, 小学校教諭一種免許状)

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	現代文化学部において 修得することを必要とする 授業科目の単位数	
			共通教育科目	教科及び教職に 関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の 学位を 有する こと		9	51(※)
小学校教諭一種免許状				59

※ただし、教育実習Ⅰ(小学校)、教育実習Ⅱ(小学校)を修得する場合は53単位。

小学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。保育士資格の取得希望者で「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」を履修し、施設実習を行った場合、「社会福祉施設での5日間の介護等体験」に充当することができます。小学校教諭一種免許状申請の際は、実習施設での証明書が必要となります。

実習する施設および申請に必要な証明書については、保育実習の前に担当者から説明があります。

共通教育科目  
及び単位数

免許法施行規則に 定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	4
体育	2	○スポーツA	1	2
		○ウエルネス論	2	4
外国語 コミュニ ケーション	2	○英語リテラシー	1	1
		英語Ⅰ	1	2
		英語基礎Ⅰ	1	2
		英会話Ⅰ	1	1
情報機器の操作	2	○情報リテラシー	1	1
		情報処理演習A	1	2
		情報処理演習B	1	2
		情報処理演習C	1	3
最低修得単位数			9	

(備考)○印は教職必修科目

教科及び教職に関する科目及び単位数

子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等	
				必	選		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康 人間関係 環境 言葉 表現	保育内容(健康)	2		2	
			保育内容(人間関係)	2		5	
			保育内容(環境)	2		5	
			保育内容(言葉)	2		4	
			保育内容(表現)	2		3	
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育指導法(健康)	2		3	
		保育指導法(人間関係)	2		6		
		保育指導法(環境)	2		6		
		保育指導法(言葉)	2		5		
		保育指導法(表現Ⅰ) 保育指導法(表現Ⅱ)	2 2		4 5		
計		16	必要単位数		22		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2	2	4 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		幼児教育課程論	2		4	
			保育内容総論	2		1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法と技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1 1		4 4	
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2		3	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		子どもの発達と教育相談	2		5	
	理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	a a又はbを選択必修 b
			a 教育実習Ⅰ(小学校)		2	6	
			a 教育実習Ⅱ(小学校)		2	6	
			教育実習Ⅲ(幼稚園) b 教育実習Ⅳ(幼稚園)	2		5 7	
学校体験活動			—	—	—		
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8		
計		21	必要単位数		27		

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
大学が独自に設定する科目	-	14	環境教育論		2	3	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①16単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」 ②21単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から14単位以上とする
			総計		51		

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」および「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」の履修資格

①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。

②「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」の単位修得、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」、「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修資格

「教職入門」、「教育実習指導」、「教育心理学」、「教育の方法と技術」、「国語Ⅰ」、「社会Ⅰ」、「算数Ⅰ」、「理科Ⅰ」、「生活Ⅰ」、「国語科教育法」、「算数科教育法」、「音楽科教育法」、「社会科教育法」、「図画工作科教育法」、「家庭科教育法」、「生活科教育法」、「体育科教育法」、「理科教育法」、「初等英語科教育法」、「教科授業研究A」、「教科授業研究B」、「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

①「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであること。

②1年次で購入した履修カルテを4年間を通して記入し、作成すること。

教科及び教職に関する科目及び単位数

子ども発達教育学科(小学校教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	国語Ⅰ	2		1	
			国語Ⅱ		2	3	
		社会	社会Ⅰ	2		2	
			社会Ⅱ		2	3	
		算数	算数Ⅰ	2		2	
			算数Ⅱ		2	3	
		理科	理科Ⅰ	2		2	
			理科Ⅱ		2	3	
			理科実験		1	4	
		生活	生活Ⅰ		2	1	
	生活Ⅱ			2	3		
	音楽	音楽Ⅰ		1	1		
		音楽Ⅱ		1	2		
	図画工作	図画工作Ⅰ		1	3		
		図画工作Ⅱ		1	4		
	家庭	家庭		2	3		
	体育	体育Ⅰ		1	1		
		体育Ⅱ		1	2		
	外国語	初等英語Ⅰ	2		3		
		初等英語Ⅱ		2	4		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	30	国語科教育法	2		3	
	社会		社会科教育法	2		4	
	算数		算数科教育法	2		3	
	理科		理科教育法	2		5	
	生活		生活科教育法	2		5	
	音楽		音楽科教育法	2		3	
	図画工作		図画工作科教育法	2		4	
	家庭		家庭科教育法	2		4	
	体育		体育科教育法	2		5	
	外国語		初等英語科教育法	2		5	
計	30	必要単位数	30				

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等
				必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2	2	4 2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		5
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と方法	2		4
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		4
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		6
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子どもの発達と教育相談	2		5
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	—	—	—	—	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
教育実践に関する科目	5	教育実習指導	1			3・4
教育実習		教育実習Ⅰ(小学校)	2		6	
		教育実習Ⅱ(小学校)	2		6	
		教育実習Ⅲ(幼稚園)		2	5	
	教育実習Ⅳ(幼稚園)		2	7		
学校体験活動		—	—	—		
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8	
計	27	必要単位数	28			

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
大学が独自に設定する科目	-	2	環境教育論		2	3	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①30単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から2単位以上とする
			現代教育政策概論		2	6	
			学校支援ボランティア		1	1～8	
総計		59	必要単位数		59		

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ(小学校)」および「教育実習Ⅱ(小学校)」の履修資格

「教職入門」, 「教育実習指導」, 「教育心理学」, 「教育の方法と技術」, 「国語Ⅰ」, 「社会Ⅰ」, 「算数Ⅰ」, 「理科Ⅰ」, 「生活Ⅰ」, 「国語科教育法」, 「算数科教育法」, 「音楽科教育法」, 「社会科教育法」, 「図画工作科教育法」, 「家庭科教育法」, 「生活科教育法」, 「体育科教育法」, 「理科教育法」, 「初等英語科教育法」, 「教科授業研究A」, 「教科授業研究B」, 「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」および「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ(幼稚園)」の履修資格

- ①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。
- ②「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」の単位修得, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ(幼稚園)」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」, 「子ども理解の理論と方法」, 「幼児教育課程論」, 「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

- ①「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること, もしくは履修登録をし, 単位修得見込みであること。
- ②1年次で購入した履修カルテを4年間を通して記入し, 作成すること。

③ 栄養教諭  
一種免許状

## 健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

栄養教諭は、子どもの望ましい食習慣の形成を促すために、「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行い、クラス担任・教科担当の先生と連携して「学校における食育」を職務とします。

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	基礎資格	健康栄養学部において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること	9	28

共通教育科目  
及び単位数

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	4
体育	2	○スポーツA	1	1
		○ウエルネス論	2	1
外国語 コミュニケーション	2	○英語リテラシー	1	1
		英語 I	1	2
		英語基礎 I	1	2
		英会話 I	1	1
情報機器の操作	2	○情報リテラシー	1	1
		情報処理演習 A	1	2
		情報処理演習 B	1	2
		情報処理演習 C	1	3
最低修得単位数			9	

(備考)○印は教職必修科目

栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目及び単位数

健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			健康栄養学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育指導論	2		5	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項						
	食生活に関する歴史的及び文化的事項						
	食に関する指導の方法に関する事項		学校栄養教育実践論	2		6	
計		4	必要単位数	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3	
生徒指導・総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と方法	2		6	
			総合的な学習の時間の指導法	1		5	
			特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	1		5	
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		5	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2		5	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3			
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	2		7・8	
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)	2		8	
計		18	必要単位数	24			
総計		22	必要単位数	28			



## 「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」の履修について

次に掲げる要件を満たす者に限り、「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」を受講できます。その審査は「栄養教育実習委員会」が行います。

- ① 将来栄養教諭の職に就こうとする意欲や希望を有すること。
- ② 栄養教育実習の心得や栄養教諭業務等を学び、さらに事前準備や事後学習することにより栄養教育学習の成果を上げるため、7セメスターまでの管理栄養士の資格科目、教職科目(栄養教諭)並びに管理栄養士に係る共通教育科目の単位を修得している、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであること。
- ③ 成績評価において、5セメスターまでに開講する「栄養教諭養成領域」科目は原則として全て「良」以上であること。

栄養教育実習の実習期間は1週間です。なお、栄養教諭一種免許状を取得するには、臨地実習の実習期間4週間と合わせて5週間となります。

## 「教職実践演習(栄養教諭)」の履修について

「教職実践演習(栄養教諭)」の履修は、「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」の単位修得見込みであること、および栄養に係る教育及び教職に関する科目のうち「教職実践演習(栄養教諭)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。

## 「履修カルテ」について

- 教員免許状取得に必要です。
- 「教職入門」(1年次前期)で各自履修カルテを購入し、4年間を通して保管作成して下さい。

### (3) 教職課程年間スケジュール

#### 【中一種免・高一種免】

		介護等体験 (特別支援学校/社会福祉施設)	教育実習	教育職員免許状申請 他
2年	10月	◇介護等体験申込 (特別支援学校/社会福祉施設)		
	4月	◇特別支援学校介護等体験校決定 ◇介護等体験事前指導(学内) ◇社会福祉施設介護等体験申込書提出		
3年	5月	◇社会福祉施設介護等体験費用納入 ◇特別支援学校介護等体験事前指導(学外)	◇教育実習希望届提出	
	6月	◇特別支援学校介護等体験開始(2日間)～12月まで随時 ◇社会福祉施設介護等体験先施設確認		
	7月	◇社会福祉施設介護等体験先決定 ◇社会福祉施設介護等体験事前指導(学内)	◇内諾依頼事前指導	
	8月	◇社会福祉施設介護等体験開始(5日間)～1月末まで随時	◇実習希望校へ内諾依頼訪問	
	1月		◇誓約書提出説明会	
4年	4月		◇健康診断受診(学内) 【身体測定, 尿検査】 ※実習校又は年度により検査項目を変更する場合があります	
	5月		◇教育実習費納入 ◇教育実習事前指導 ◇教育実習直前個別指導 ◇教育実習開始～11月まで随時	
	7月			◇教員採用試験(7月～8月頃)
	10月			◇教育職員免許状申請手続説明会
	11月			◇教育職員免許状申請に係る費用提出 (免許1種類につき3,400円) 2023.1月現在
	12月			◇教育職員免許状1次申請
	3月			◇教育職員免許状2次申請 ◇教育職員免許状交付(卒業式)

※介護等体験は、小・中一種免取得の場合に必要な

なお、子ども発達教育学科で取得する免許・資格については、学科のガイダンスで指示しますので、それに従ってください。

### (4) 履修カルテについて

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから「教職実践演習」(最終セメスター)の授業を履修し、さらに、教員免許を取得するまで、各自「履修カルテ」を作成しなければなりません。「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で、何を学んだか、振り返るとともに、教員の指導を受け、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるためのものです。

## (5) 資格等の取得について

## ① 学校図書館司書教諭資格

## 言語文化学科、子ども発達教育学科

学校図書館司書教諭資格を取得しようとする者は、卒業の条件を充足し、教育職員免許状(小学校教諭一種・中学校教諭一種・高等学校教諭一種)取得のために必要な科目を履修し、所定の単位を修得するとともに、下記の学校図書館司書教諭講習規程第3条に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

この資格は、卒業後に申請することとなります。詳細は4年次に説明します。

## 学校図書館司書教諭専門科目

学校図書館司書教諭講習規程に規定された科目及び最低修得単位数		現代文化学部における授業科目及び単位数		開講セメスター
科目	最低修得単位数	授業科目	単位数	
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	3
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	4
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	5
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	6
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	6

## ② 学芸員資格

言語文化学科およびマスコミュニケーション学科の学生で、学芸員の資格を取得しようとする者は、下記に定める所定の単位を修得しなければなりません。

省令科目	単位数	本学開設科目	単位数	開講セメスター		備考
				言語		
				マスコミ	マスコミ	
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	5		必修 19単位
博物館概論	2	博物館概論	2	3		
博物館経営論	2	博物館経営論	2	5		
博物館資料論	2	博物館資料論	2	4		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	4		
博物館展示論	2	博物館展示論	2	4		
博物館教育論	2	博物館教育論	2	5		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	3		
博物館実習	3	博物館実習Ⅰ	1	6・7		
		博物館実習Ⅱ	2	7・8		
その他 関連科目	文化史	日本文化史Ⅰ	2	1	日本文化史Ⅰ・Ⅱ又は欧米文化論・アジア文化論のいずれか4単位を選択必修	
		日本文化史Ⅱ	2	2		
		欧米文化論	2	5		
		アジア文化論	2	6		
	考古学	日本考古学	2	4	2単位以上 選択必修	
民俗学	日本民俗学	2	5			
最低修得単位数			25単位			

(備考)博物館実習Ⅰ・Ⅱを履修するためには、その他の関連科目以外の学芸員専門科目の単位すべてを修得していることが必要です。

③日本語教員養成課程

日本語教員養成課程

言語文化学科の学生で、日本語教員養成課程修了証を取得しようとする者は、下記に定める所定の単位を修得しなければなりません。

	領域	区分	本学における授業科目	単位数	開講セメスター		備考
					言語文化学科		
					日文	国際	
コミュニケーション	社会・文化・地域に関する領域	社会・文化・地域	日本文学の歴史	2	5	4単位以上	
			欧米文化論	2	5		
			アジア文化論	2	6		
			日本文化史Ⅰ	2	1		
			日本文化史Ⅱ	2	2		
		日英比較文化	2	2			
		言語と社会	言語文化論	2	1	2単位以上	
			社会言語学	2	3		
			異文化間コミュニケーションⅠ	2	1・2		
			異文化間コミュニケーションⅡ	2	1・2		
		言語と心理	異文化理解入門	2	1	2単位以上	
			知覚・認知心理学	2	1		
			発達心理学A	2	1		
		教育に関する領域	言語と教育	○日本語教育概論Ⅰ	2	3	必修を含め10単位以上
				○日本語教育概論Ⅱ	2	4	
	○日本語教授法			2	5		
	○日本語教材研究			2	6		
	○日本語教育実習			2	5・6		
	第二言語習得概論Ⅰ			2	3		
	第二言語習得概論Ⅱ			2	4		
	言語に関する領域	言語	日本語学入門	2	1	10単位以上	
			日本語概論	2	2		
			言語学入門	2	1		
			英語学概論	2	2		
			日本語研究Ⅰ	2	3		
			日本語研究Ⅱ	2	4		
			日本語の歴史	2	5		
			日本語表現法Ⅰ	2	3		
日本語表現法Ⅱ			2	4			
日本語表現研究			2	6			
対照言語学			2	4			
最低修得単位数				28単位以上			

(備考)○印は日本語教員養成課程必修科目

4 日本心理学会  
認定心理士資格

社会臨床心理学科の学生で、日本心理学会認定心理士資格を取得しようとする者は、別表1の所定の単位を修得しなければならない。また、日本心理学会認定心理士資格取得に加えて日本心理学会認定心理士(心理調査)資格を取得しようとする者は、別表1の他、別表2の所定の単位を修得しなければならない。

別表1

日本心理学会認定  
心理士資格

区分	開設授業科目	主題	単位数	認定 単位数	開講セメ スター	必要な認定単位数		
基礎 科目	(a) 心理学概論	心理学概論	基本	2	2	1	(a) (c) は各 4 単位以上、 (b) (c) を合わせて 8 単位 以上含み、合計12単位以上 であること。	
		臨床心理学概論	副次	2	1	2		
		感情・人格心理学	副次	2	1	5		
	(b) 心理学研究法	心理学研究法A	基本	2	2	1		
心理学統計法		基本	2	2	2			
(c) 心理学実験・実習	心理学実験	基本	4	4	2			
小計				12				
選択 科目	(d) 知覚心理学・学習心理学	知覚・認知心理学	基本	2	2	1		(d) ~ (h) から 5 領域のうち、 3 領域以上で各領域 4 単位以上を含み、合計16単 位以上であること。
		学習・言語心理学	基本	2	2	3		
	(e) 生理心理学・比較心理学	神経・生理心理学	基本	2	2	4		
		発達心理学A	基本	2	2	1		
	(f) 教育心理学・発達心理学	発達心理学B	基本	2	2	8		
		教育・学校心理学	基本	2	2	2		
		(g) 臨床心理学・人格心理学	障害者・障害児心理学	基本	2	2	3	
	心理的アセスメント		基本	2	2	4		
	心理学的支援法A		基本	2	2	3		
	心理学的支援法B		基本	2	2	3		
	心理学的支援法C		基本	2	2	4		
	健康・医療心理学		基本	2	2	3		
	司法・犯罪心理学		基本	2	2	5		
	福祉心理学	基本	2	2	3			
(h) 社会心理学・産業心理学	人体の構造と機能及び疾病	副次	2	1	5			
	精神疾患とその治療	副次	2	1	6			
	社会・集団・家族心理学A	基本	2	2	2			
	社会・集団・家族心理学B	基本	2	2	7			
(i) その他の科目	産業・組織心理学	基本	2	2	6	残り 8 単位は (a) ~ (h) の 任意の科目または (i) 「その 他の科目」で充当すること。		
	社会臨床心理学	-	2	2	4			
	社会臨床心理学演習	-	2	2	5			
	知覚・認知心理学演習	-	2	2	6			
	社会・集団・家族心理学演習	-	2	2	6			
	教育・学校心理学演習	-	2	2	6			
	発達心理学演習	-	2	2	6			
	臨床心理学演習A	-	2	2	6			
	臨床心理学演習B	-	2	2	6			
	臨床心理学演習C	-	2	2	6			
卒業論文	-	4	4	7・8				
合計			36					

別表2

日本心理学会認定  
心理士(心理調査)

区分	開設授業科目	主題	単位数	認定 単位数	開講セメ スター	必要な認定単位数
心理調査概論・心理調査法	心理学研究法A	基本	2	2	1	2単位以上
心理学統計	心理学統計法	基本	2	2	2	2単位以上
発展/展開研究(実習)	特別研究 I	-	2	2	7	6単位以上 ※この区分における単位の認 定には、各科目について、目 的、方法、結果、考察を含む 報告書の提出が必要となる。
	特別研究 II	-	2	2	8	
	卒業論文	-	4	2又は4	7・8	※卒業論文は連名の場合 2 単 位、単著の場合 4 単位での認 定となる。

⑤ 公認心理師  
受験資格

社会臨床心理学科の学生で、公認心理師受験資格を得ようとする者の大学における要件については、本学の定める卒業要件を満たし、かつ、下記に定める授業科目の所要単位数を修得しなければならない。

公認心理師法施行規則で定められた必要な科目	本学における開設授業科目名等			
	科目名	単位数		開講セメスター
		必修	選択	
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2		4
心理学概論	心理学概論	2		1
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2		2
心理学研究法	心理学研究法 A	2		1
心理学統計法	心理学統計法	2		2
心理学実験	心理学実験	4		2
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2		1
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2		3
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2		5
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2		4
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学 A	2		2
発達心理学	発達心理学 A	2		1
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2		3
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2		4
心理学的支援法	心理学的支援法 A	2		3
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2		3
福祉心理学	福祉心理学	2		3
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2		2
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2		5
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2		6
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2		5
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2		6
関係行政論	関係行政論	2		6
心理演習	心理演習 B	4		6
心理実習(実習の時間が80時間以上のものに限る。)	心理実習 A	2		4
	心理実習 B	2		5
合	計	56		

「心理実習A」および「心理実習B」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「心理実習A」の履修資格

「心理学概論」, 「臨床心理学概論」, 「心理学研究法A」, 「心理学統計法」, 「心理学実験」, 「知覚・認知心理学」, 「学習・言語心理学」, 「社会・集団・家族心理学A」, 「発達心理学A」, 「障害者・障害児心理学」, 「心理学的支援法A」, 「健康・医療心理学」, 「福祉心理学」, 「教育・学校心理学」, 「心理演習A」の単位修得が必要です。

「心理実習B」の履修資格

「公認心理師の職責」, 「神経・生理心理学」, 「心理的アセスメント」の単位修得が必要です。

⑥ 保育士資格  
(保育士証)

子ども発達教育学科の学生で、保育士資格(保育士証)を取得するには、本学の定める卒業要件を満たし、かつ、児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省告示による教科目等				本学における開講科目等					備考
系列	教科目	授業形態	開設単位数	授業科目	授業形態	単位数		開講セメスター	
						必修	選択		
教養科目	外国語, 体育以外の科目	不問	6以上	共通教育科目の下記の科目以外から6単位以上					卒業要件の24単位以上
	外国語	演習	2以上	共通教育科目・比治山ベーシック・コミュニケーションリテラシー・外国語(演習)の中から2科目2単位以上					
	体育	講義	1	ウエルネス論	講義	2		4	
		実技	1	スポーツA	実技	1		2	
教養科目 計			10以上						
必修科目(厚生労働省告示別表1による教科目)	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	2	必修64単位
		教育原理	講義	2	教育基礎論	講義	2	2	
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2	2	
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	5	
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2	4	
		社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	講義	2	1	
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	1	
				計14				計14	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2	2	
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2	5	
		子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	2	3	
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	3	
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	3	
					計9				
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	幼児教育課程論	講義	2	4	
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2	1	
		保育内容演習	演習	5	保育指導法(健康)	演習	2	3	
					保育指導法(人間関係)	演習	2	6	
					保育指導法(環境)	演習	2	6	
					保育指導法(言葉)	演習	2	5	
保育指導法(表現 I)					演習	2	4		
保育指導法(表現 II)					演習	2	5		
保育内容の理解と方法		演習	4	保育内容の理解と方法 I	演習	2	5		
				保育内容の理解と方法 II	演習	2	6		
乳児保育 I		講義	2	乳児保育 I	講義	2	4		
乳児保育 II		演習	1	乳児保育 II	演習	2	6		
子どもの健康と安全		演習	1	子どもの健康と安全	演習	2	3		
障害児保育	演習	2	障がい児保育	演習	2	3			
社会的養護 II	演習	1	社会的養護 II	演習	2	4			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	2	6			
			計20				計32		
保育実習	保育実習指導 I	演習	2	保育実習指導 I	演習	2	3・4		
	保育実習 I	実習	4	保育実習 I (保育所・施設)	実習	4	3・4		
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	2	8		
必修科目 計			51	必修科目 計			64		

厚生労働省告示による教科目等				本学における開講科目等					
系列	教科目	授業形態	開設単位数	授業科目	授業形態	単位数		開講セメスター	備考
						必修	選択		
選択必修科目 (厚生労働省告示別表2による教科目)	保育の本質・目的に関する科目		15 以上	現代社会と子ども	講義	2	1	6 単 位 以 上 修 得	
				教育心理学	講義	2	4		
	保育の対象の理解に関する科目		15 以上	子どもの発達と教育相談	講義	2	5		
				保育内容(健康)	講義	2	2		
	保育の内容・方法に関する科目		15 以上	保育内容(人間関係)	講義	2	5		
				保育内容(環境)	講義	2	5		
				保育内容(言葉)	講義	2	4		
				保育内容(表現)	講義	2	3		
				保育実習		3 以上	保育実習指導Ⅱ		演習
			3 以上	保育実習Ⅱ(保育所)	実習	2	5		
			3 以上	保育実習指導Ⅲ	演習	1	5		
		3 以上	保育実習Ⅲ(施設)	実習	2	5			
選択必修科目 計			18 以上	選択必修科目 計		9 以上			
合計			79 以上	合計		97 以上			

「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」, 「保育実習Ⅱ(保育所)」 および 「保育実習Ⅲ(施設)」 の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」の履修資格

「保育実習指導Ⅰ」の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「保育実習Ⅱ(保育所)」・「保育実習Ⅲ(施設)」の履修資格

- ① 「保育者論」, 「保育内容総論」, 「社会的養護Ⅰ」, 「教育基礎論」, 「保育原理」, 「子ども家庭福祉」, 「保育の心理学」, 「乳児保育Ⅰ」の単位修得が必要条件です。
- ② 「保育実習指導Ⅱ」または「保育実習指導Ⅲ」の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

厚生労働省告示による保育士資格に必要な教科目のうち、「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての科目の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることを条件とします。



⑦管理栄養士  
国家試験  
受験資格

管理栄養学科の学生で、管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、その基礎資格として本学を卒業見込みであることを要し、下記に定める所定の単位を修得しなければなりません。

管理栄養士学校指定規則別表第一で定められた教育内容及び単位数			本学における開設科目等			開講 セメ スター			
教育内容	講義又 は演習	実験又 は実習	授業科目	講義又 は演習	実験又 は実習				
社会・環境と健康	6		健康科学論	2		1			
			健康心理学	2		2			
			公衆衛生学	2		6			
人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち	14	10	栄養情報実習		1	2			
			解剖生理学 I	2		3			
			解剖生理学 II	2		4			
			疾病論 I	2		5			
			疾病論 II	2		6			
			疾病論 III	2		7			
			運動生理学	2		4			
			運動生理学実習		1	6			
			生化学	2		3			
			栄養生化学	2		4			
			生化学実験		1	5			
食べ物と健康	8		食品学	2		2			
			基礎分析実験		1	1			
			食品学実験		1	4			
			食品加工学	2		4			
			食品加工学実習		1	6			
			食品衛生学	2		4			
			食品衛生学実習		1	5			
			調理学	2		1			
			調理学実習 I		1	1			
			調理学実習 II		1	2			
			調理学実習 III		1	3			
基礎栄養学	2		栄養学	2		1			
			栄養学実験		1	2			
			応用栄養学	2		2			
			ライフステージ栄養学	2		3			
			ライフステージ栄養学実習		1	4			
			栄養ケア・マネジメント	2		3			
			栄養ケア・マネジメント演習	2		4			
			栄養教育論	6		栄養教育論 I	2		1
						栄養教育論 II	2		2
						カウンセリング論	2		3
						栄養教育論実習		1	3
			臨床栄養学	8	8	臨床栄養学 I	2		3
						臨床栄養学 II	2		4
						臨床栄養学 III	2		5
						薬理学	2		6
臨床栄養活動論	2					6			
臨床栄養学実習 I		1				4			
臨床栄養学実習 II		1				5			
公衆栄養学	4		公衆栄養学 I	2		5			
			公衆栄養学 II	2		6			
			公衆栄養学実習		1	6			
給食経営管理論	4		給食経営管理論 I	2		3			
			給食経営管理論 II	2		4			
			給食経営管理実習 I		1	5			
			給食経営管理実習 II		1	6			
総合演習	2		総合演習 I	1		5・6			
			総合演習 II	1		7・8			
臨地実習		4	給食経営管理臨地実習 I (給食の運営)		1	5・6			
			※給食経営管理臨地実習 II		※1	7・8			
			※公衆栄養学臨地実習		※1	7・8			
			臨床栄養学臨地実習 I		1	7・8			
			臨床栄養学臨地実習 II		1	7・8			
小計	60	22	小計	66	22				
合計		82	合計		88				

注1) 管理栄養士受験資格取得条件として、共通教育科目教養科目の「ウエルネス論」および「スポーツA」、専門教育科目導入分野の「管理栄養論」および「基礎生物学」、専門発展分野の「健康栄養総合演習 I・II・III」の単位を修得すること。  
また、専門発展分野の「健康栄養総合演習IV」を履修し、単位修得を目指すこと。

注2) ※から1単位を修得すること。

## ⑧ 栄養士免許証

管理栄養学科の学生で、栄養士免許証を取得しようとする者は、その基礎資格として本学を卒業見込みであることを要し、下記に定める科目を全て修得しなければなりません。

栄養士法施行規則別表第一で定められた教育内容及び単位数			本学開設の授業科目及び単位数			開講 セメ スター
教育内容	講義又は演習	実験又は実習	授業科目	講義又は演習	実験又は実習	
				必修	必修	
社会生活と健康	4		健康科学論	2		1
			公衆衛生学	2		6
人体の構造と機能	8	4	解剖生理学 I	2		3
			疾病論 I	2		5
			運動生理学	2		4
			生化学	2		3
			食品学	2		2
食品と衛生	6		基礎分析実験		1	1
			食品学実験		1	4
			食品加工学	2		4
			食品加工学実習		1	6
			食品衛生学	2		4
			食品衛生学実習		1	5
栄養と健康	8	10	栄養学	2		1
			栄養学実験		1	2
			栄養生化学	2		4
			ライフステージ栄養学	2		3
			ライフステージ栄養学実習		1	4
			栄養ケア・マネジメント	2		3
			臨床栄養学 I	2		3
			臨床栄養学実習 I		1	4
栄養の指導	6		栄養教育論 I	2		1
			栄養教育論 II	2		2
			栄養教育論実習		1	3
			公衆栄養学 I	2		5
給食の運営	4		調理学	2		1
			調理学実習 I		1	1
			調理学実習 II		1	2
			調理学実習 III		1	3
			給食経営管理論 I	2		3
			給食経営管理実習 I		1	5
			給食経営管理実習 II		1	6
			総合演習 I	1		5・6
			給食経営管理臨地実習 I (給食の運営)		1	5・6
小 計	36	14	小 計	39	14	
合 計	50		合 計	53		

注1) 栄養士免許証取得条件として、共通教育科目教養科目の「ウエルネス論」および「スポーツA」、専門教育科目導入分野の「管理栄養論」および「基礎生物学」の単位を修得すること。